

# <<非正規雇用労働者調査>>

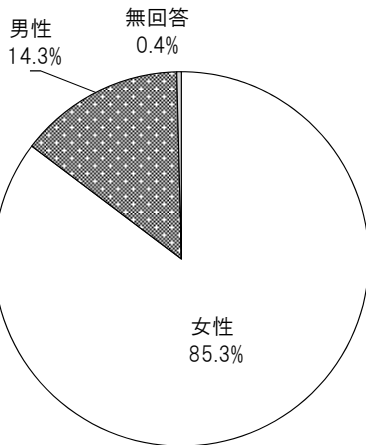


## § 4. 非正規雇用労働者調査

### 1. 回答者の属性

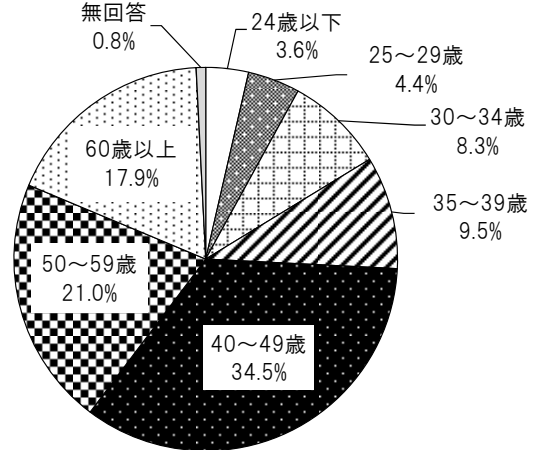
#### (1) 回答者の属性

図表Ⅲ-1-1 性別



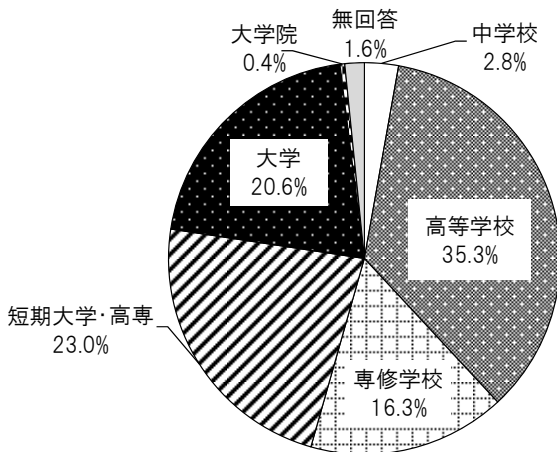
全体 (N=252)

図表Ⅲ-1-2 年齢



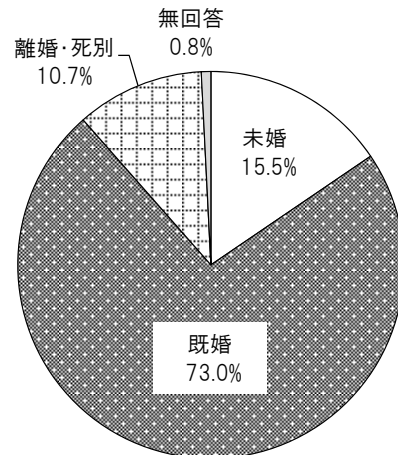
全体 (N=252)

図表Ⅲ-1-3 最終学歴



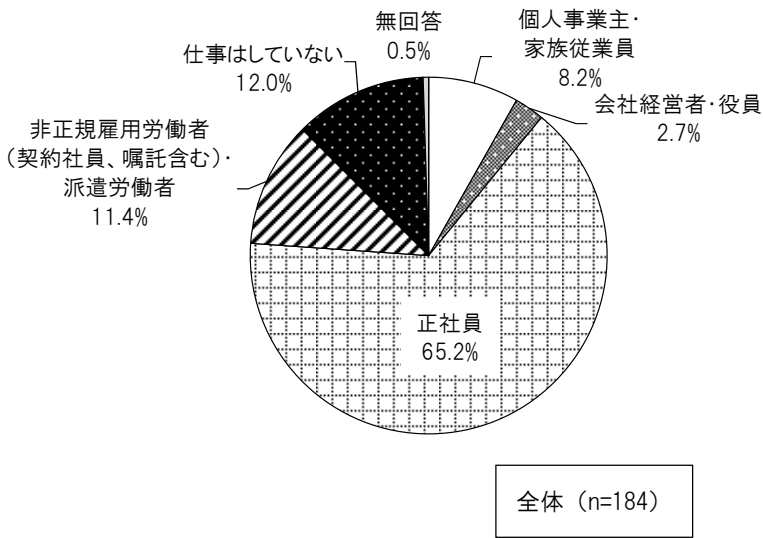
全体 (N=252)

図表Ⅲ-1-4 未・既婚

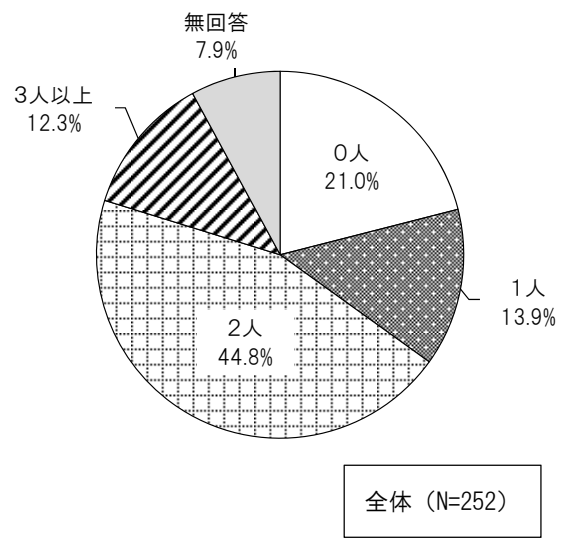


全体 (N=252)

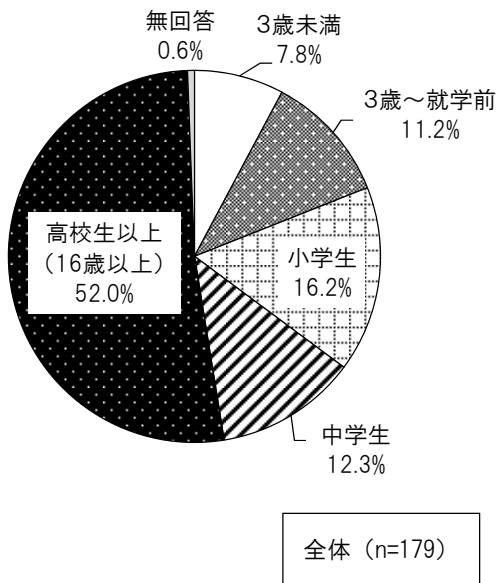
図表Ⅲ-1-5 配偶者の職業



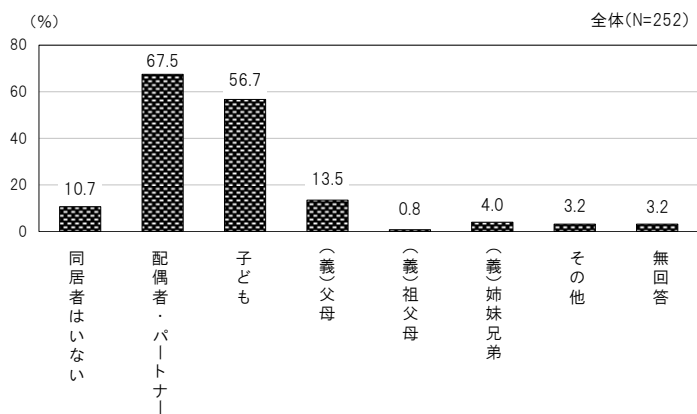
図表Ⅲ-1-6 子どもの人数



図表Ⅲ-1-7 末子の年齢



図表Ⅲ-1-8 同居家族



## 2. 勤務先の事業所

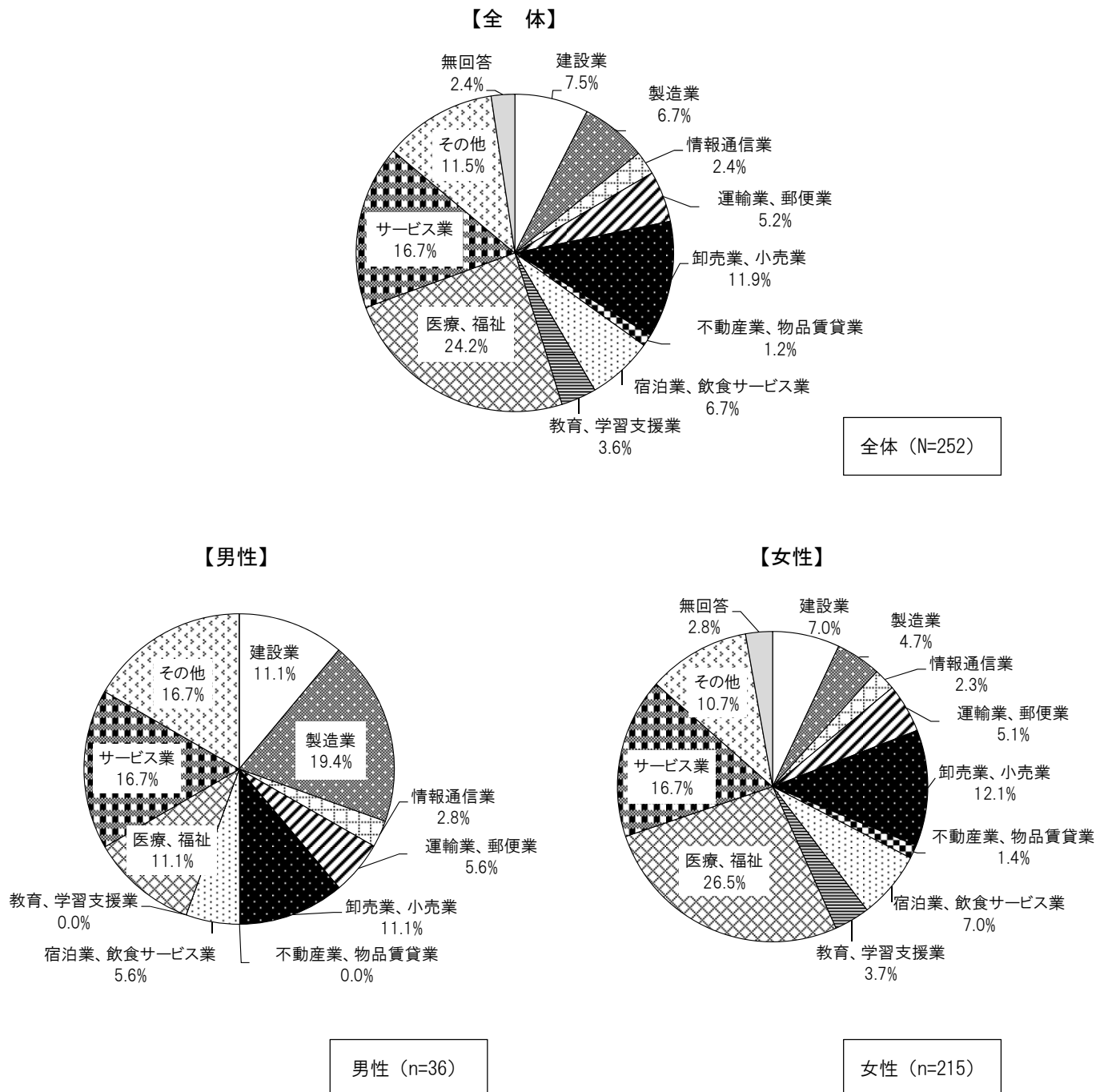
問1. あなたが現在お勤めの事業所の業種はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

### (1) 業種

業種は、全体では「医療、福祉」(24.2%)が最も高く、次いで「サービス業」(16.7%)、「卸売業、小売業」(11.9%)となっている。

性別にみると、男性では「製造業」(19.4%)、女性では「医療、福祉」(26.5%)が最も高くなっている。

図表Ⅲ-2-1 業種

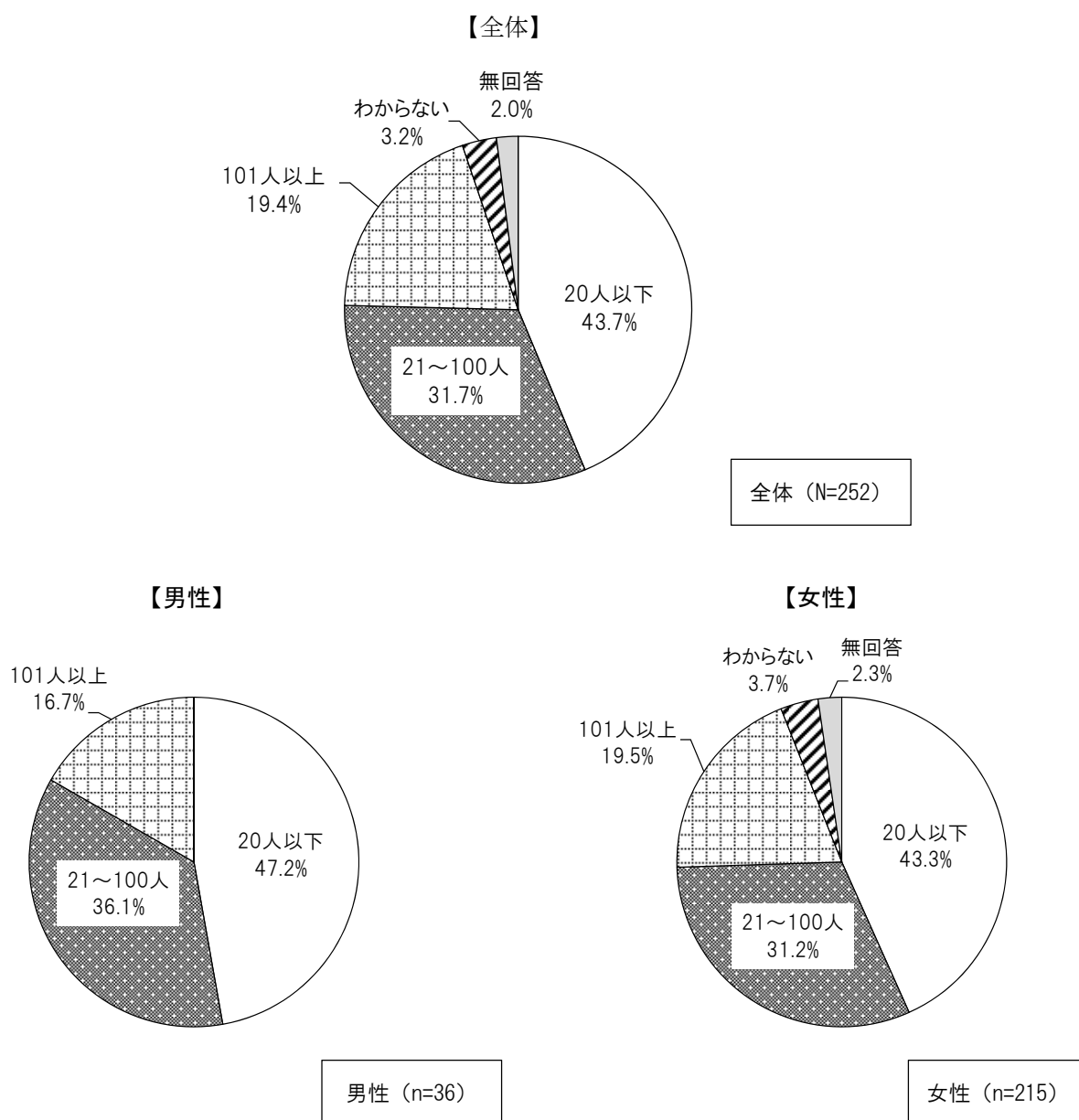


問2. あなたが現在お勤めの事業所の従業員は、非正規雇用労働者も含め全体でおおよそ何人いますか。  
 あてはまるもの1つに○をつけてください。

(2) 従業員数

従業員数は、全体では「20人以下」(43.7%)が最も高く、次いで「21~100人」(31.7%)、「101人以上」(19.4%)となっている。

図表Ⅲ-2-2 従業員数



### 3. 勤務状況

問3. あなたの勤務先での職種は次のどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

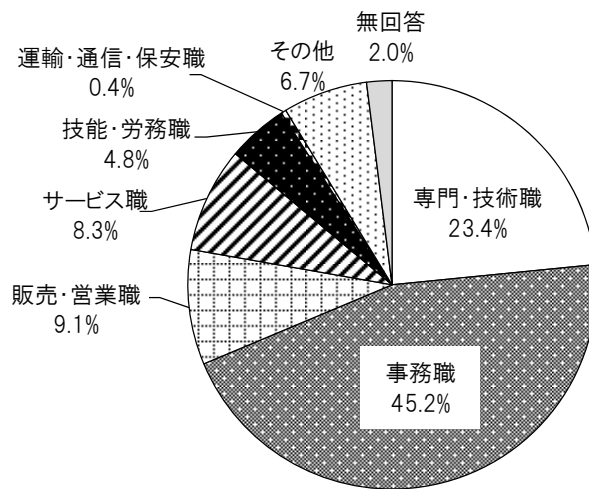
#### (1) 職種

職種は、全体では「事務職」(45.2%)が最も高く、次いで「専門・技術職」(23.4%)、「販売・営業職」(9.1%)となっている。

性別にみると、男性では「専門・技術職」(30.6%)、女性では「事務職」(50.7%)が最も高くなっている。

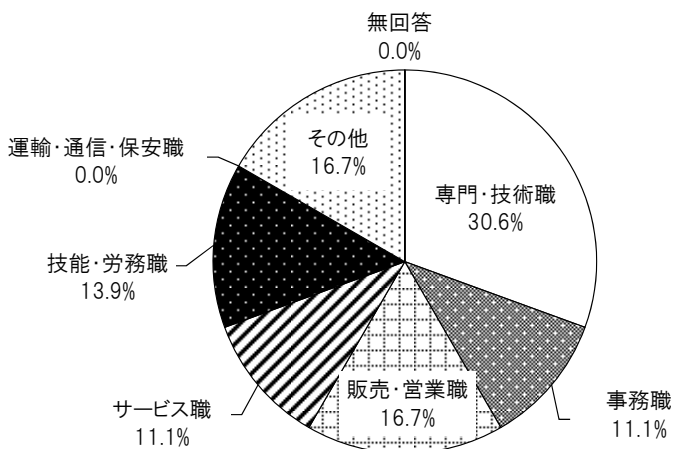
図表Ⅲ-3-1 職種

#### 【全体】



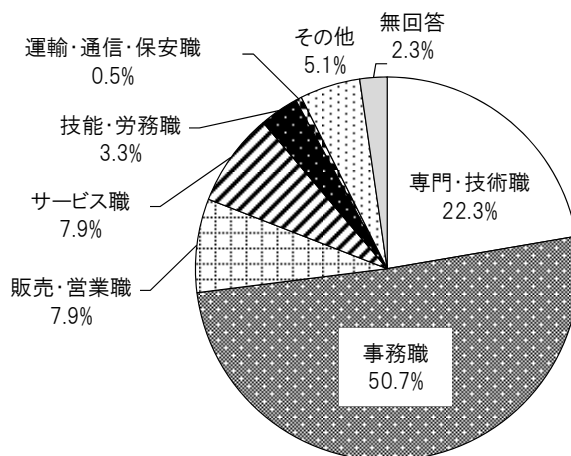
全体 (N=252)

#### 【男性】



男性 (n=36)

#### 【女性】



女性 (n=215)

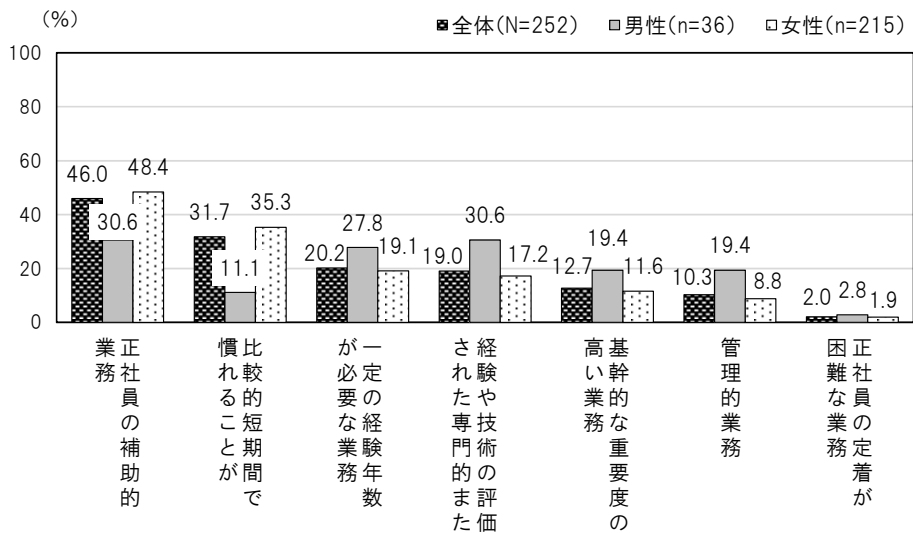
問4. あなたの勤務先での業務は次のどれにあたりますか。あてはまる主なものを2つまで選び○をつけてください。

(2) 業務内容

勤務先での業務では、「正社員の補助的業務」(46.0%)が最も高く、次いで「比較的短時間で慣れることができる業務」(31.7%)、「一定の経験年数が必要な業務」(20.2%)、「経験や技術の評価された専門的または特殊な業務」(19.0%)、「基幹的な重要度の高い業務」(12.7%)となっている。

性別にみると、「正社員の補助的業務」、「比較的短時間で慣れることができる業務」などでは、男性に比べ女性の割合が高くなっている。

図表Ⅲ-3-2 業務内容



		サンプル数	正社員の補助的業務	比較的短時間で慣れることができる業務	一定の経験年数が必要な業務	経験や技術の評価された専門的または特殊な業務	基幹的な重要度の高い業務	管理的業務	正社員の定着が困難な業務	無回答
全体		100.0 252	46.0 116	31.7 80	20.2 51	19.0 48	12.7 32	10.3 26	2.0 5	2.8 7
性別・婚姻状況別	男性計	36	30.6	11.1	27.8	30.6	19.4	19.4	2.8	-
	未婚	9	33.3	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	-
	既婚	25	28.0	-	28.0	36.0	24.0	24.0	-	-
	離婚・死別	2	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-
	女性計	215	48.4	35.3	19.1	17.2	11.6	8.8	1.9	3.3
未婚	30	46.7	43.3	13.3	13.3	10.0	16.7	6.7	-	
既婚	159	49.7	34.6	20.8	15.1	11.3	8.8	1.3	3.8	
離婚・死別	25	44.0	32.0	12.0	32.0	16.0	-	-	4.0	



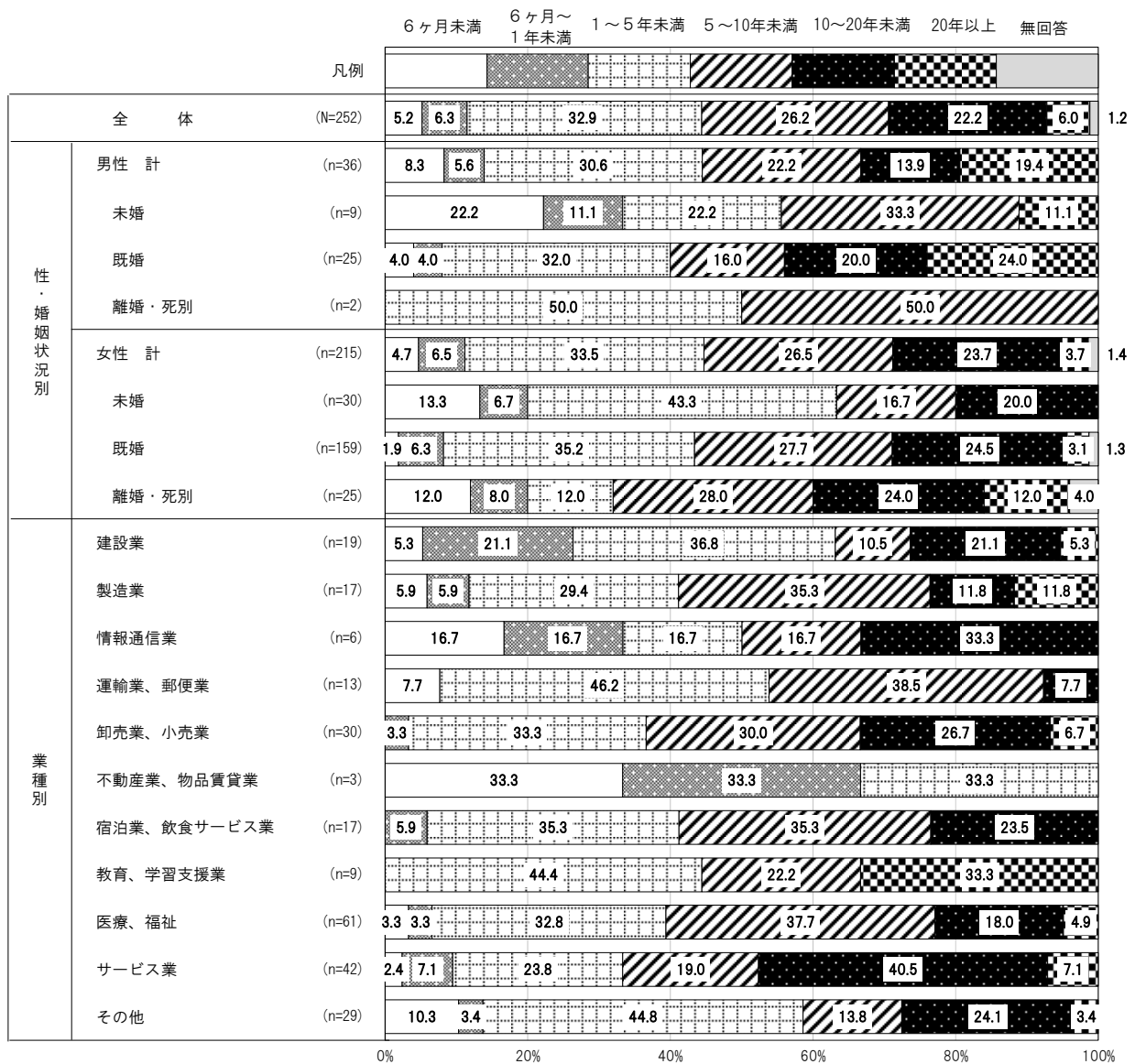
問5. あなたが現在の会社（事業所）で働き始めてからどのくらいになりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

(3) 勤続年数

勤続年数については、「1～5年未満」(32.9%)が最も高く、次いで「5～10年未満」(26.2%)、「10～20年未満」(22.2%)、「6ヶ月～1年未満」(6.3%)、「20年以上」(6.0%)となっている。

性別にみると、男性では20年以上勤続している人の割合が、女性に比べ高くなっている。

図表Ⅲ-3-3 勤続年数



問6. あなたの1週間の平均的な合計労働時間は、残業時間を含めてどのくらいになりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

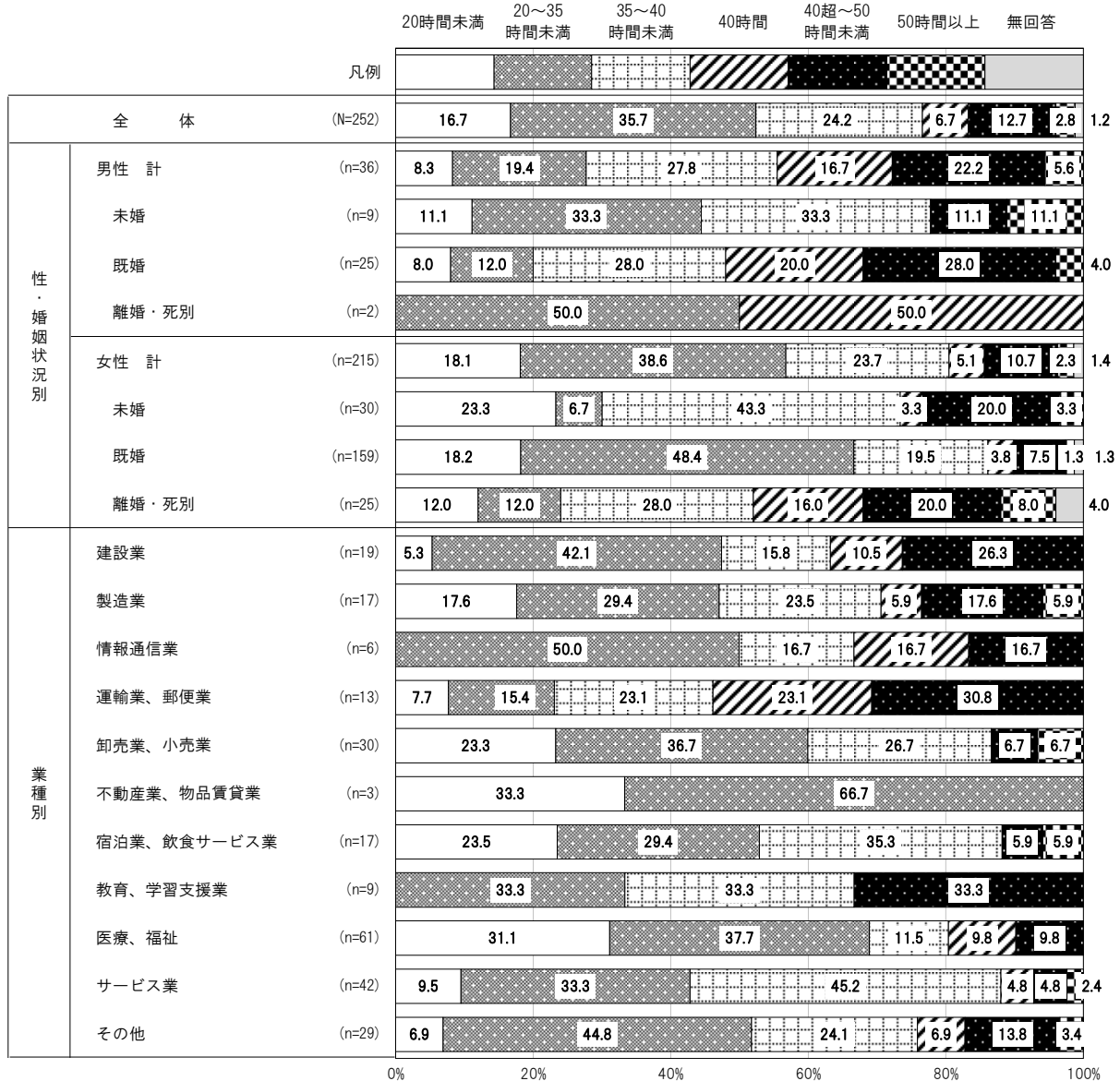
(4) 労働時間

1週間の平均的な合計労働時間（残業時間を含む）では、「20～35 時間未満」（35.7%）が最も高く、次いで「35～40 時間未満」（24.2%）、「20 時間未満」（16.7%）、「40 超～50 時間未満」（12.7%）、「40 時間」（6.7%）となっている。

性別にみると、女性は「20 時間未満」（18.1%）、「20～35 時間未満」（38.6%）で6割弱を占めるのに対し、男性は3割弱であり、女性に比べ男性の労働時間が長くなっている。

性・婚姻状況別にみると、既婚女性では35 時間未満の短時間での勤務が6割半ばを占める。

図表Ⅲ-3-4 労働時間

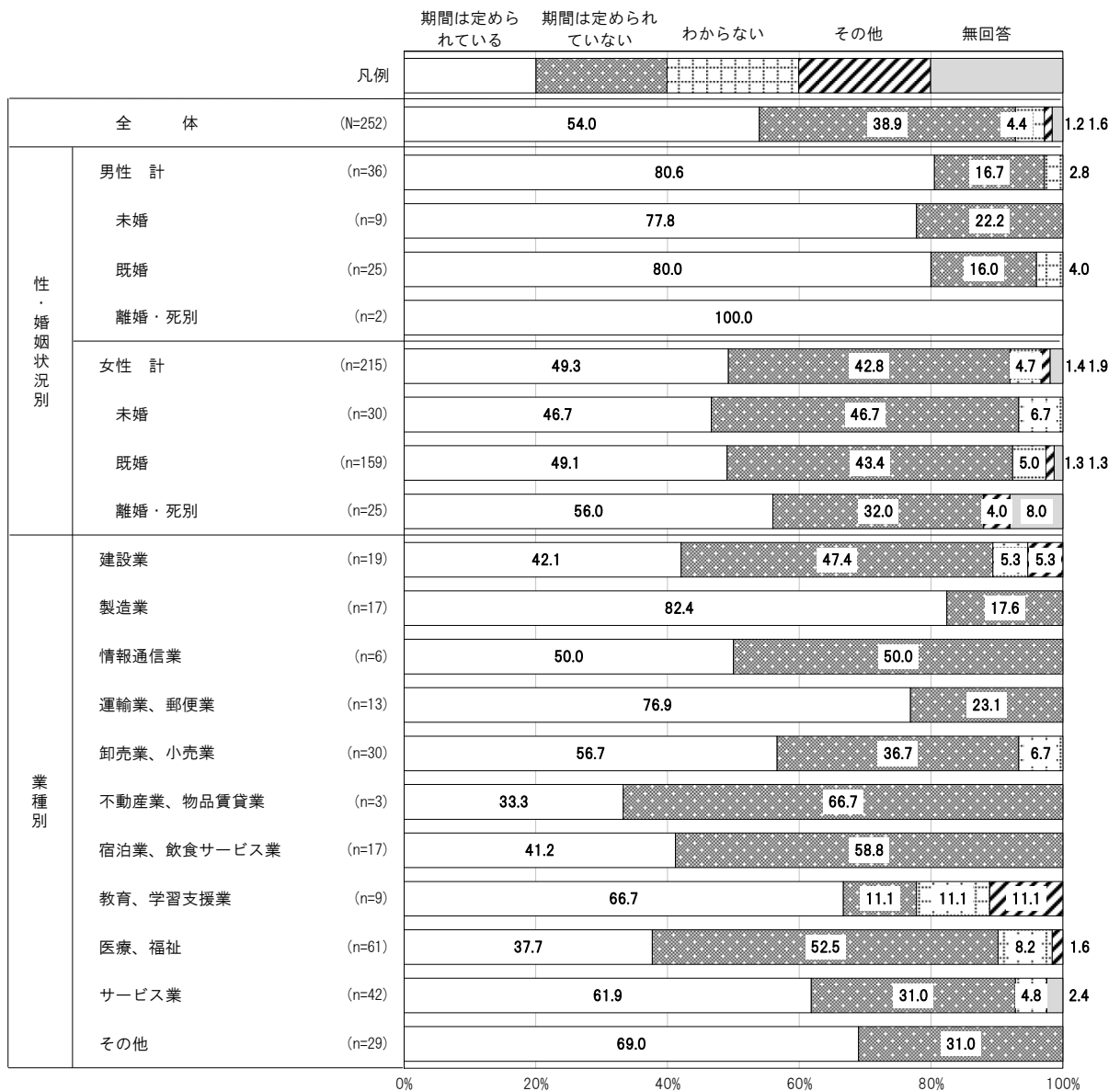


問7. 現在の会社（事業所）に雇用されたとき、雇用契約期間は定められていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

(5) 契約期間

雇用契約期間の設定をみると、「期間は定められている」(54.0%)が最も高く、次いで「期間は定められていない」(38.9%)、「わからない」(4.4%)、「その他」(1.2%)となっている。性別にみると、女性の4割が雇用されたときに、雇用契約期間を定められていない。

図表Ⅲ-3-5 契約期間

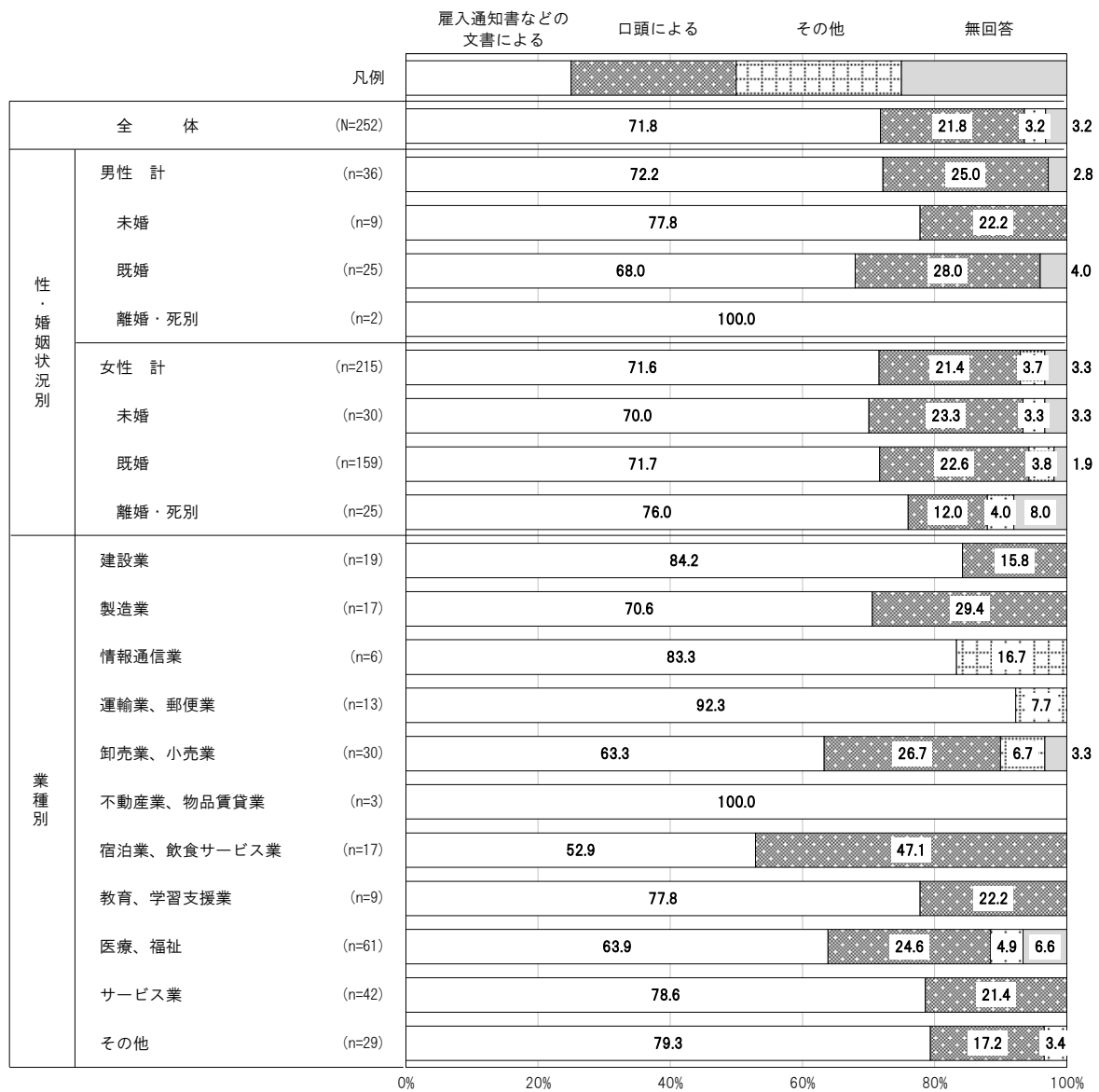


問8. あなたは、現在の会社（事業所）での直近の契約（新規または更新）のとき、どのような方法で雇用契約を結びましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

(6) 雇用契約の方法

雇用契約を結んだ方法では、「雇入通知書などの文書による」(71.8%)が最も高く、次いで「口頭による」(21.8%)、「その他」(3.2%)となっている。

図表Ⅲ-3-6 雇用契約の方法



## 4. 働いている理由と過去の勤務経験

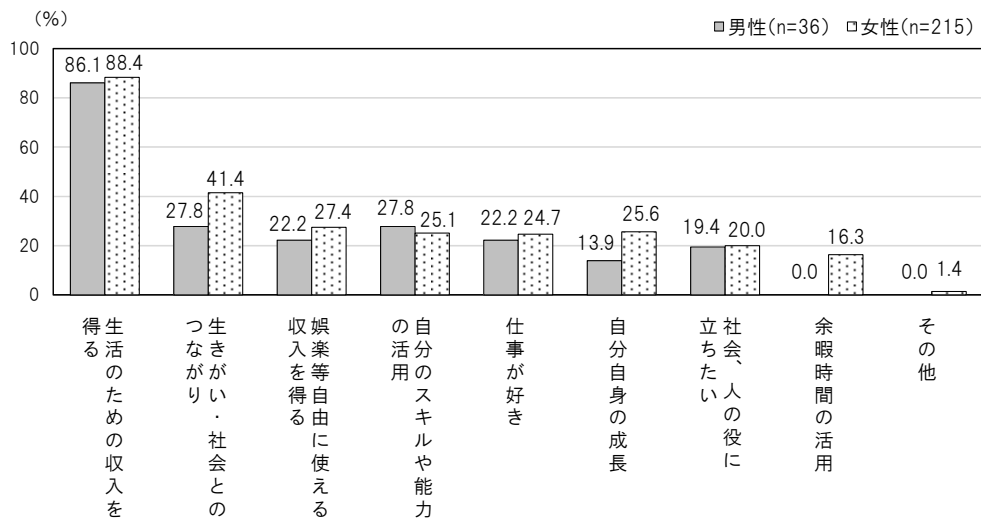
問9. あなたが働いている理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

### (1) 働いている理由

働いている理由では、「生活のための収入を得る」(88.1%)が最も高く、次いで「生きがい・社会とのつながり」(39.3%)、「娯楽等自由に使える収入を得る」(27.0%)、「自分のスキルや能力の活用」(25.4%)、「仕事が好き」(24.2%)となっている。

性別にみると、女性では男性に比べ、「生きがい・社会とのつながり」、「自分自身の成長」などの割合が高くなっている。

図表Ⅲ-4-1 働いている理由



		サンプル数	生活のための収入を得る	つながり・社会との	娯楽等自由に使える収入を得る	自分のスキルや能力の活用	仕事が好き	自分自身の成長	社会、人の役に立ちたい	余暇時間の活用	その他	無回答
全体		100.0 252	88.1 222	39.3 99	27.0 68	25.4 64	24.2 61	23.8 60	19.8 50	13.9 35	1.2 3	1.6 4
性・婚姻状況別	男性計	36	86.1	27.8	22.2	27.8	22.2	13.9	19.4	-	-	-
	未婚	9	88.9	22.2	33.3	33.3	44.4	33.3	11.1	-	-	-
	既婚	25	88.0	28.0	16.0	20.0	16.0	8.0	20.0	-	-	-
	離婚・死別	2	50.0	50.0	50.0	100.0	-	-	50.0	-	-	-
女性年代別	女性計	215	88.4	41.4	27.4	25.1	24.7	25.6	20.0	16.3	1.4	1.9
	24歳以下	5	80.0	-	40.0	20.0	-	80.0	-	20.0	-	-
	25~29歳	10	90.0	50.0	30.0	30.0	20.0	30.0	-	-	-	10.0
	30~34歳	16	93.8	50.0	31.3	31.3	18.8	56.3	18.8	12.5	-	-
35~39歳	24	91.7	16.7	20.8	29.2	25.0	29.2	25.0	20.8	-	-	
40~49歳	84	91.7	36.9	31.0	26.2	25.0	23.8	16.7	14.3	3.6	1.2	
50~59歳	51	84.3	51.0	27.5	21.6	29.4	13.7	25.5	15.7	-	2.0	
60歳以上	24	79.2	58.3	16.7	16.7	20.8	16.7	25.0	29.2	-	4.2	

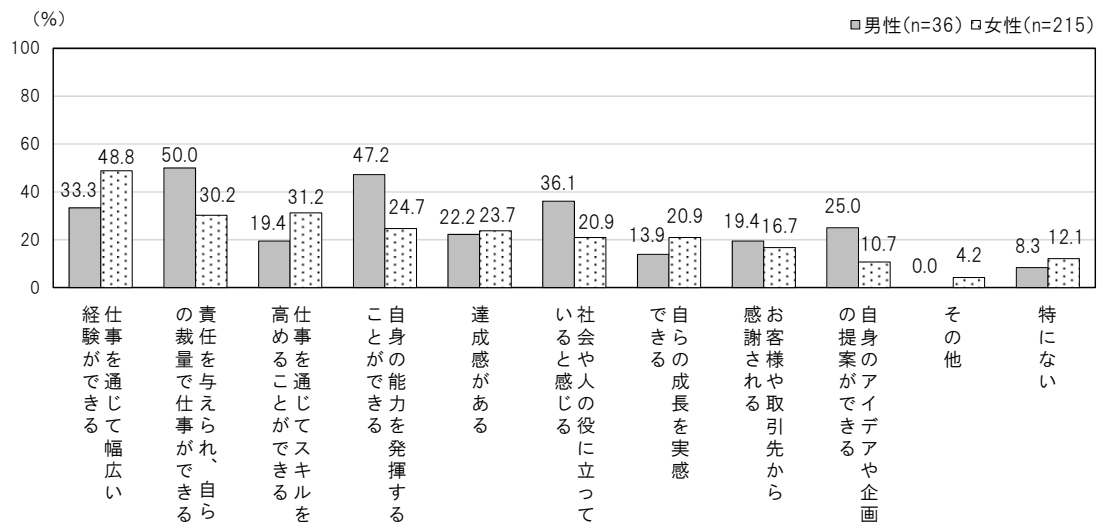
問10. あなたは現在の仕事について、どのように感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(2) 仕事について感じていること

現在の仕事について感じていることでは、「仕事を通じて幅広い経験ができる」(46.4%)が最も高く、次いで「責任を与えられ、自らの裁量で仕事ができる」(32.9%)、「仕事を通じてスキルを高めることができる」(29.4%)、「自身の能力を發揮することができる」(27.8%)、「達成感がある」(23.4%)となっている。

性別にみると、男性では女性に比べ、「責任を与えられ、自らの裁量で仕事ができる」、「自身の能力を發揮することができる」、「社会や人の役に立っていると感じる」、「自身のアイデアや企画の提案ができる」などの割合が高く、女性では「仕事を通じて幅広い経験ができる」、「仕事を通じてスキルを高めることができる」などの割合が高い。

図表Ⅲ-4-2 仕事について感じていること



		サンプル数	経験が通じて幅広い	責任を与えられ、自らの裁量で仕事ができる	高めの仕事を通じてスキルを	自身の能力を發揮することができる	達成感がある	社会や人の役に立っていると	自らの成長を実感	お客様や取引先から感謝される	自身のアイデアや企画の提案ができる	その他	特にな	無回答
全体		100.0	46.4	32.9	29.4	27.8	23.4	23.0	19.8	17.1	12.7	3.6	11.9	2.0
性・婚姻状況別	男性 計	36	33.3	50.0	19.4	47.2	22.2	36.1	13.9	19.4	25.0	-	8.3	-
	未婚	9	22.2	33.3	22.2	55.6	33.3	22.2	33.3	22.2	22.2	-	11.1	-
	既婚	25	36.0	56.0	16.0	44.0	20.0	40.0	8.0	20.0	28.0	-	8.0	-
	離婚・死別	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
女性 年代別	女性 計	215	48.8	30.2	31.2	24.7	23.7	20.9	20.9	16.7	10.7	4.2	12.1	2.3
	未婚	30	40.0	33.3	43.3	26.7	20.0	23.3	23.3	20.0	10.0	3.3	23.3	3.3
	既婚	159	49.7	27.0	27.7	23.9	23.9	19.5	20.1	15.7	9.4	4.4	10.7	2.5
	離婚・死別	25	52.0	44.0	36.0	28.0	24.0	24.0	20.0	20.0	20.0	4.0	8.0	-
女性 年代別	24歳以下	5	80.0	20.0	40.0	20.0	40.0	20.0	40.0	60.0	-	-	-	-
	25～29歳	10	50.0	30.0	20.0	20.0	-	10.0	20.0	20.0	-	-	20.0	-
	30～34歳	16	43.8	37.5	62.5	43.8	18.8	43.8	31.3	25.0	25.0	-	6.3	-
	35～39歳	24	41.7	12.5	37.5	25.0	29.2	12.5	20.8	12.5	8.3	4.2	16.7	-
	40～49歳	84	51.2	29.8	29.8	25.0	23.8	16.7	22.6	14.3	9.5	4.8	15.5	1.2
	50～59歳	51	51.0	31.4	27.5	21.6	25.5	19.6	15.7	21.6	17.6	3.9	11.8	3.9
60歳以上	24	37.5	41.7	16.7	20.8	20.8	33.3	12.5	4.2	-	8.3	-	8.3	

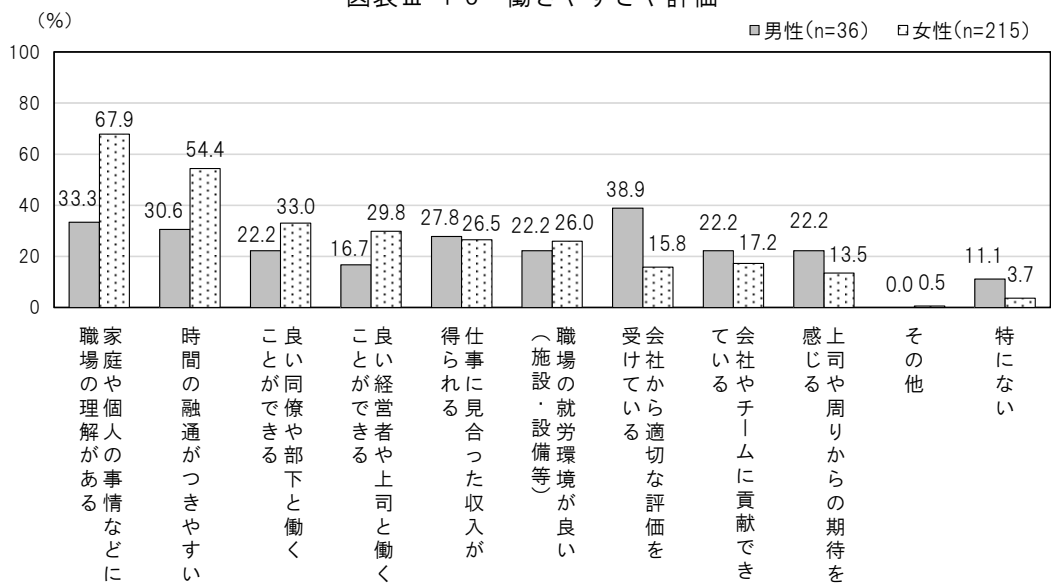
問1 1. あなたは現在の職場での働きやすさや評価などについて、どのように感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(3) 働きやすさや評価

職場での働きやすさや評価などについて感じていることでは、性別にみると、女性では「家庭や個人の事情などに職場の理解がある」、「時間の融通がつきやすい」、「良い同僚や部下と働くことができる」、「良い経営者や上司と働くことができる」などで、男性に比べ割合が高くなっている。

性・婚姻状況別でみると、既婚女性では「家庭や個人の事情などに職場の理解がある」、「時間の融通がつきやすい」で特に割合が高い。

図表Ⅲ-4-3 働きやすさや評価



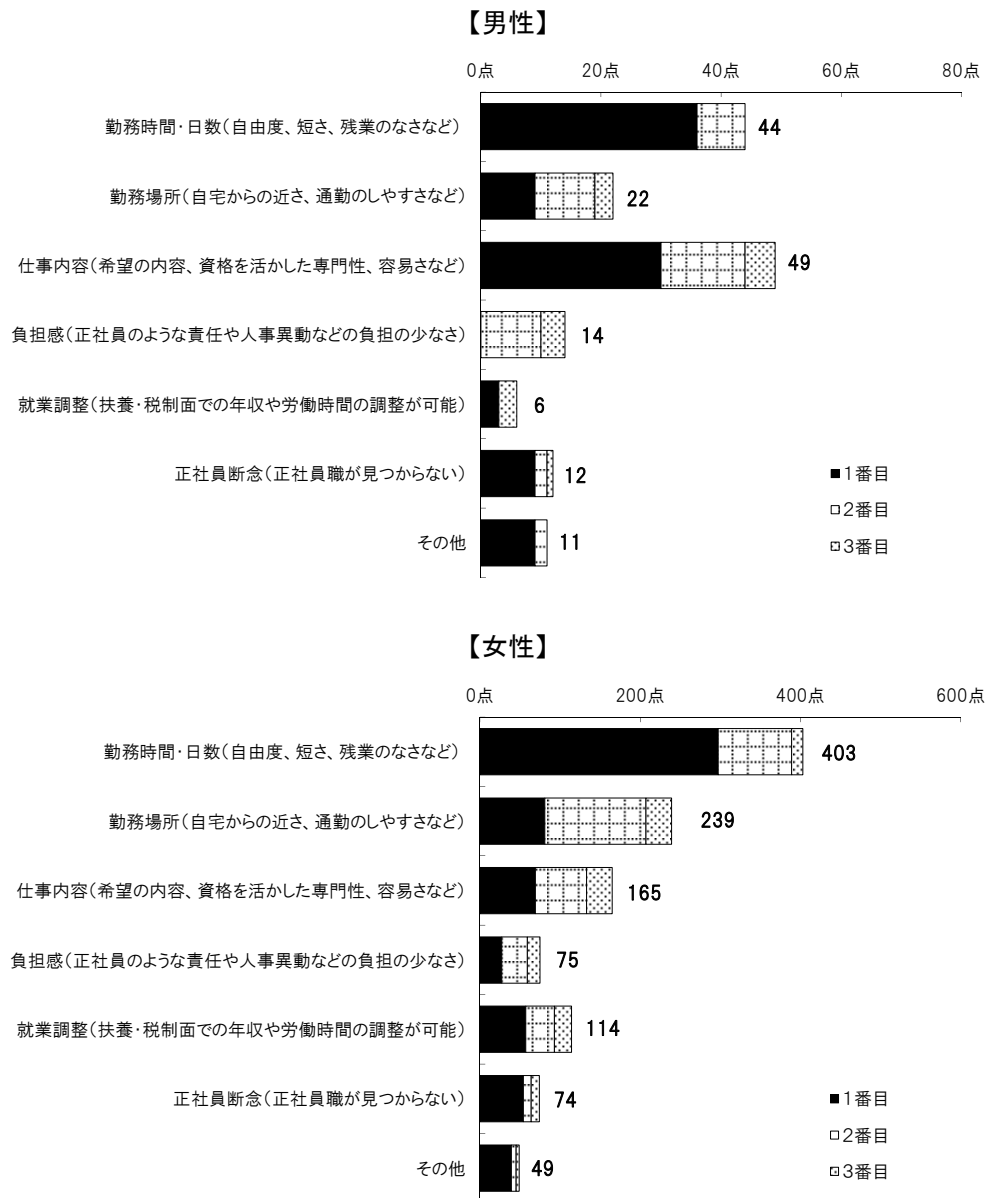
		サンプル数	家庭や個人の事情などに職場の理解がある	時間の融通がつきやすい	良い同僚や部下と働くことができる	良い経営者や上司と働くことができる	仕事に見合った収入が得られる	職場の就労環境が良い(施設・設備等)	会社から適切な評価を受けている	会社やチームに貢献できている	上司や周りからの期待を感じている	その他	特にない	無回答
全体		100.0 252	63.1 159	50.8 128	31.3 79	27.8 70	26.6 67	25.4 64	19.0 48	17.9 45	14.7 37	0.4 1	4.8 12	1.6 4
性・婚姻状況別	男性計	36	33.3	30.6	22.2	16.7	27.8	22.2	38.9	22.2	22.2	-	11.1	-
	未婚	9	44.4	44.4	11.1	22.2	33.3	11.1	44.4	33.3	22.2	-	11.1	-
	既婚	25	32.0	24.0	28.0	16.0	28.0	24.0	32.0	16.0	20.0	-	12.0	-
	離婚・死別	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0	100.0	50.0	-	-	-
女性年代別	女性計	215	67.9	54.4	33.0	29.8	26.5	26.0	15.8	17.2	13.5	0.5	3.7	1.9
	24歳以下	5	60.0	80.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	-	-	-
	25~29歳	10	70.0	50.0	10.0	20.0	10.0	40.0	-	10.0	10.0	10.0	-	-
	30~34歳	16	68.8	56.3	43.8	50.0	43.8	25.0	6.3	18.8	6.3	-	-	-
	35~39歳	24	70.8	58.3	41.7	33.3	16.7	16.7	16.7	12.5	8.3	-	8.3	-
	40~49歳	84	72.6	56.0	32.1	26.2	16.7	23.8	19.0	20.2	11.9	-	4.8	2.4
50~59歳	51	64.7	49.0	33.3	25.5	31.4	25.5	13.7	13.7	15.7	-	3.9	2.0	
60歳以上	24	54.2	50.0	25.0	33.3	50.0	37.5	20.8	20.8	20.8	-	-	4.2	

問12. あなたが現在の会社（事業所）で働くにあたって、非正規雇用という働き方を選んだ理由は何ですか。1番目から3番目までの理由順に、あてはまるものの番号を記入してください。なお、該当するものが3つに達しない場合は、3番目まで回答する必要はありません。

(4) 非正規雇用を選んだ理由

非正規雇用という働き方を選んだ理由を性別にみると、男性では「仕事内容（希望の内容、資格を活かした専門性、容易さなど）」(49点)、次いで「勤務時間・日数（自由度、短さ、残業のなさなど）」(44点)が多く、女性では「勤務時間・日数（自由度、短さ、残業のなさなど）」(403点)が最も多く、次いで「勤務場所（自宅からの近さ、通勤のしやすさなど）」(239点)が続いている。

図表Ⅲ-4-4 非正規雇用を選んだ理由



※1番目=3点、2番目=2点、3番目=1点として加点し、点数を算出





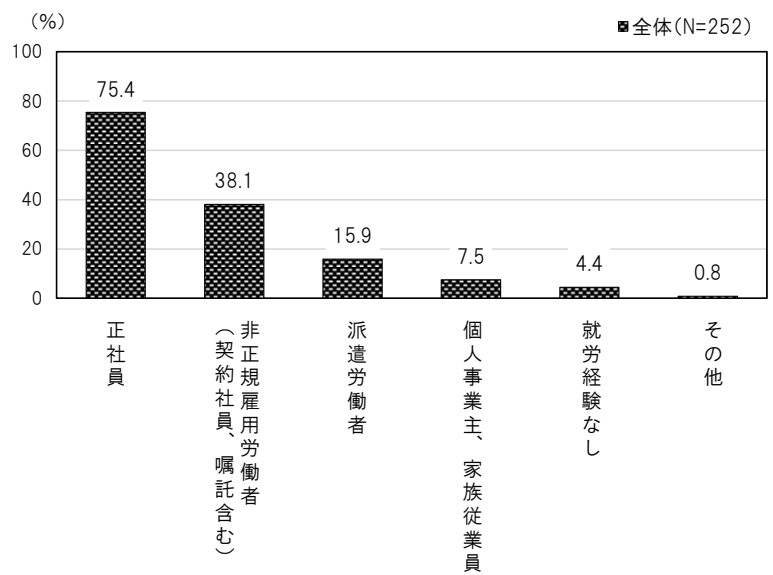
問13. 現在の会社（事業所）での就労を除き、あなたの過去の就労経験は次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(5) 就労経験

過去の就労経験では、「正社員」(75.4%)が最も高く、次いで「非正規雇用労働者（契約社員、嘱託含む）」(38.1%)、「派遣労働者」(15.9%)、「個人事業主、家族従業員」(7.5%)、「就労経験なし」(4.4%)となっている。

性別にみると、いずれも「正社員」の割合が最も高いが、女性では男性に比べ「非正規雇用労働者（契約社員、嘱託含む）」の割合が高くなっている。

図表Ⅲ-4-5 就労経験



		サンプル数	正社員	非正規雇用労働者 (契約社員、嘱託含む)	派遣労働者	個人事業主、家族従業員	就労経験なし	その他	無回答
全 体		100.0 252	75.4 190	38.1 96	15.9 40	7.5 19	4.4 11	0.8 2	2.8 7
性・婚姻状況別	男性 計	36	75.0	16.7	-	2.8	11.1	-	5.6
	未婚	9	33.3	44.4	-	-	44.4	-	-
	既婚	25	88.0	8.0	-	4.0	-	-	8.0
	離婚・死別	2	100.0	-	-	-	-	-	-
	女性 計	215	75.8	41.9	18.6	8.4	2.8	0.9	2.3
	未婚	30	46.7	50.0	10.0	6.7	10.0	3.3	3.3
既婚	159	81.8	40.9	21.4	8.8	1.9	0.6	1.3	
離婚・死別	25	72.0	40.0	12.0	8.0	-	-	8.0	

問13-1は、問13で「1」と回答した方がお答えください。

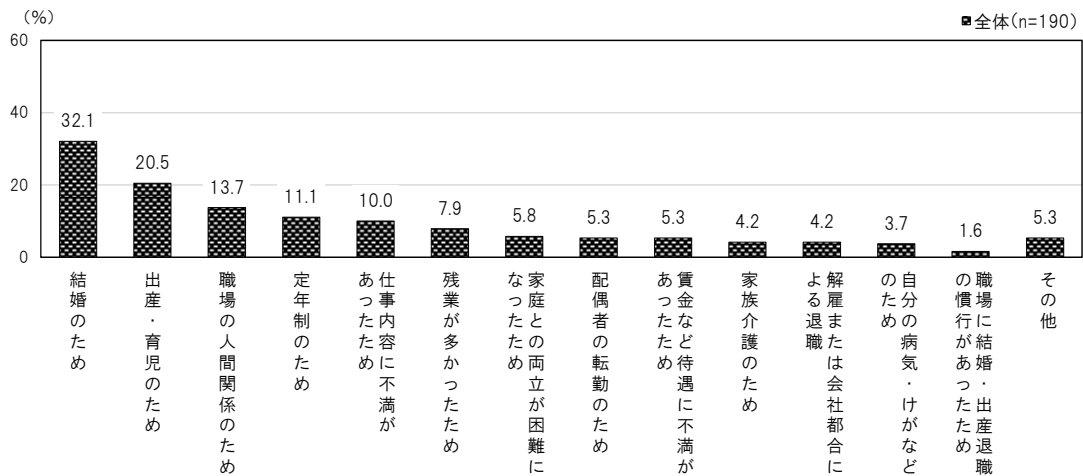
問13-1. 最後に正社員として勤めた事業所を退職した理由は、次のどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(6) 正社員として勤めた事業所を退職した理由

最後に正社員として勤めた事業所を退職した理由では、「結婚のため」(32.1%)が最も高く、次いで「出産・育児のため」(20.5%)、「職場の人間関係のため」(13.7%)、「定年制のため」(11.1%)、「仕事内容に不満があったため」(10.0%)となっている。

性別にみると、男性では「定年制のため」が過半数を占めており、女性では「結婚のため」、「出産・育児のため」の割合が高くなっている。

図表Ⅲ-4-6 正社員として勤めた事業所を退職した理由



		サンプル数	結婚のため	出産・育児のため	職場の人間関係のため	定年制のため	仕事内容に不満があったため	残業が多かったため	家庭との両立が困難になったため	配偶者の転勤のため	賃金など待遇に不満があったため	家族介護のため	解雇または会社都合による退職	自分の病気・けがなど	職場に結婚・出産退職の慣行があったため	その他	無回答	
全体		100.0 190	32.1 61	20.5 39	13.7 26	11.1 21	10.0 19	7.9 15	5.8 11	5.3 10	5.3 10	4.2 8	4.2 8	3.7 7	1.6 3	5.3 10	1.1 2	
性・婚姻状況別	男性計	27	-	-	18.5	51.9	14.8	14.8	-	-	11.1	7.4	-	3.7	-	7.4	7.4	
	未婚	3	-	-	66.7	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-
	既婚	22	-	-	13.6	59.1	13.6	13.6	-	-	9.1	-	-	-	-	9.1	9.1	
	離婚・死別	2	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
女性計	163	37.4	23.9	12.9	4.3	9.2	6.7	6.7	6.1	4.3	3.7	4.9	3.7	1.8	4.9	-		
未婚	14	7.1	7.1	35.7	-	35.7	7.1	-	-	-	-	14.3	14.3	-	7.1	-		
既婚	130	43.1	28.5	10.8	1.5	6.2	6.9	6.9	7.7	4.6	3.1	3.1	3.1	2.3	5.4	-		
離婚・死別	18	22.2	5.6	11.1	27.8	11.1	5.6	5.6	-	5.6	11.1	11.1	-	-	-	-		

問13-2は、問13-1で「1」～「5」と回答した方がお答えください。

問13-2. 育児・介護休業をはじめとした両立しながら継続して働くことができる環境が整っていれば、正社員としての勤務を継続しましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

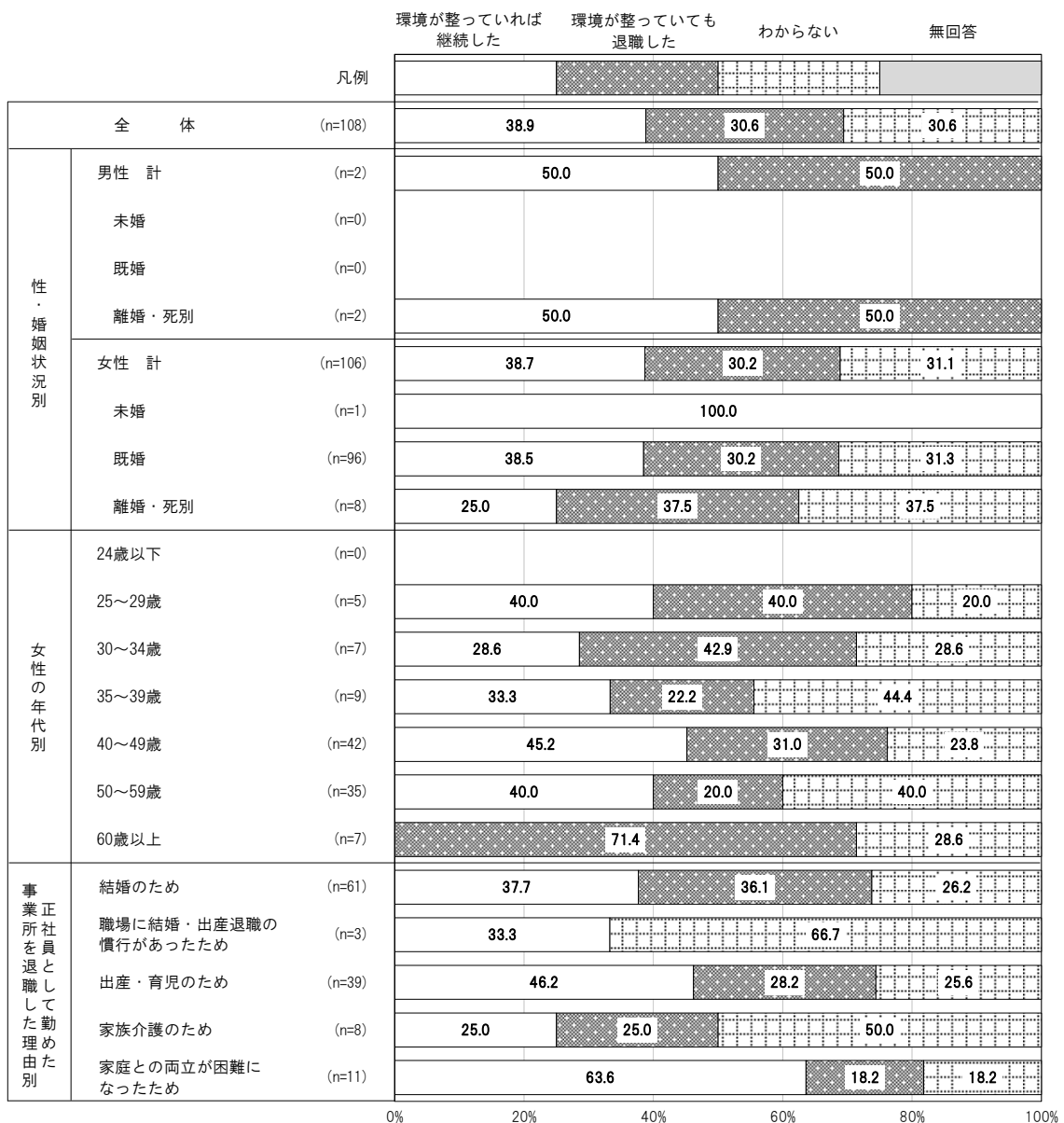
(7) 育児や介護との両立ができれば正社員としての勤務を継続したか

継続して働くことができる環境が整っていた場合の就労継続意向では、男性の対象者が少数であるため女性のみで見ると、「環境が整っていれば継続した」(38.7%)が最も高く、次いで「わからない」(31.1%)、「環境が整っていても退職した」(30.2%)となっている。

女性の年代別にみると、34歳より下の年代では「環境が整っていても退職した」、35歳から上の世代では「環境が整っていれば継続した」の割合が高いが、60歳以上では「環境が整っていれば継続した」との回答はなく、「環境が整っていても退職した」が7割を超えている。

正社員として勤めた事業所を退職した理由別にみると、家庭との両立が困難になった場合や、出産・育児のための場合、「環境が整っていれば継続した」の割合が、他に比べ高くなっている。

図表Ⅲ-4-7 育児や介護との両立ができれば正社員としての勤務を継続したか



## 5. 今後の働き方

問14. 今後は、どのような働き方を希望しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

### (1) 今後希望する働き方

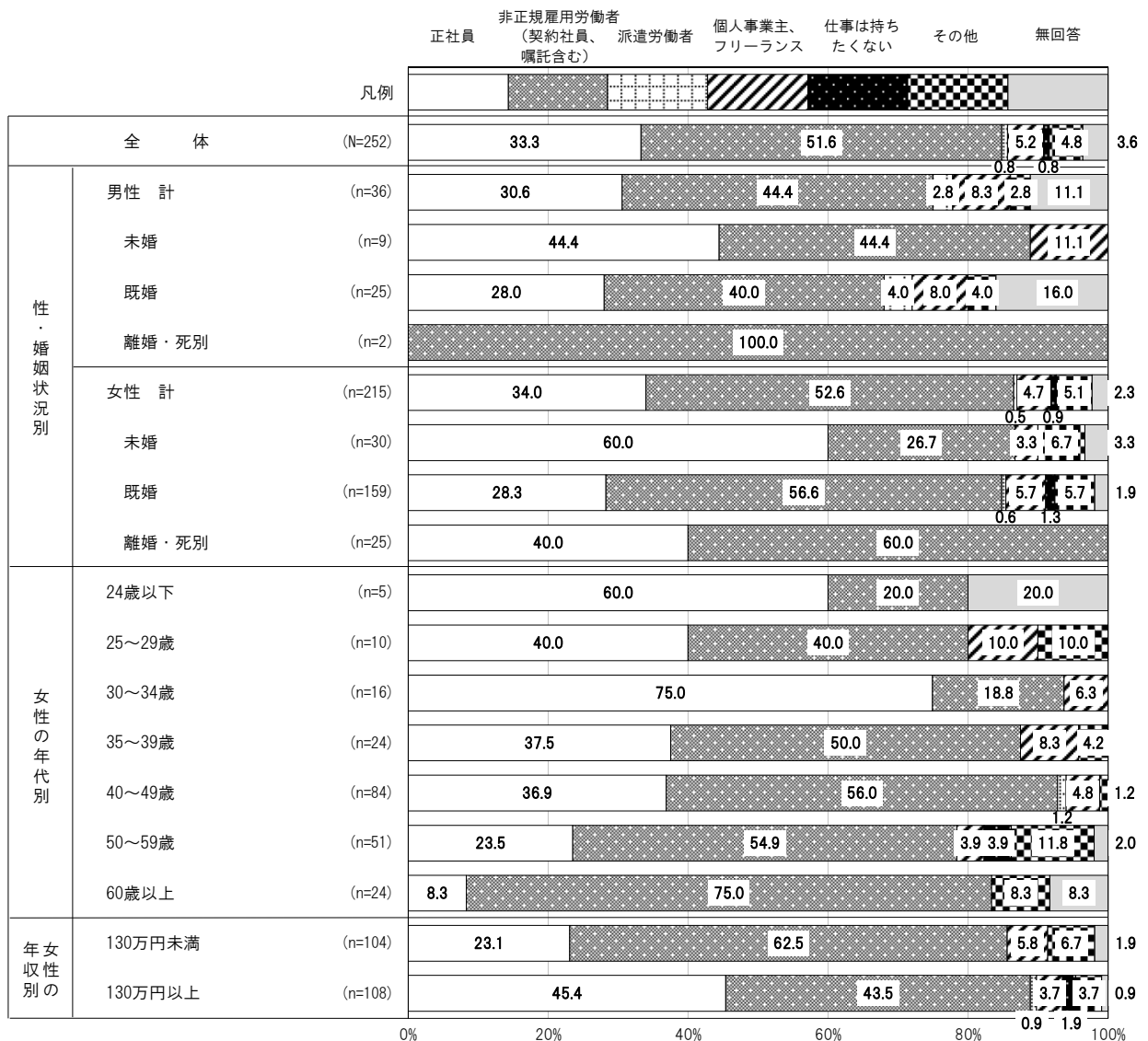
今後の働き方の希望では、「非正規雇用労働者（契約社員、嘱託含む）」(51.6%) が最も高く、次いで「正社員」(33.3%)、「個人事業主、フリーランス」(5.2%)、「その他」(4.8%)、「派遣労働者」(0.8%)、「仕事は持ちたくない」(0.8%) となっている。

女性の年代別にみると、24歳以下及び30～34歳では「正社員」の割合が高いが、35歳以上の各年齢層では、「非正規雇用労働者（契約社員、嘱託含む）」が高くなっている。

女性の年収別では、130万円未満の場合「非正規雇用労働者（契約社員、嘱託含む）」の割合が高く、130万円以上の場合「正社員」の割合が高くなっている。

※「その他」の主な意見は、「特に希望はない」「職場の環境による」など

図表Ⅲ-5-1 今後希望する働き方



問14-1は、問14で「1」と回答した方がお答えください。

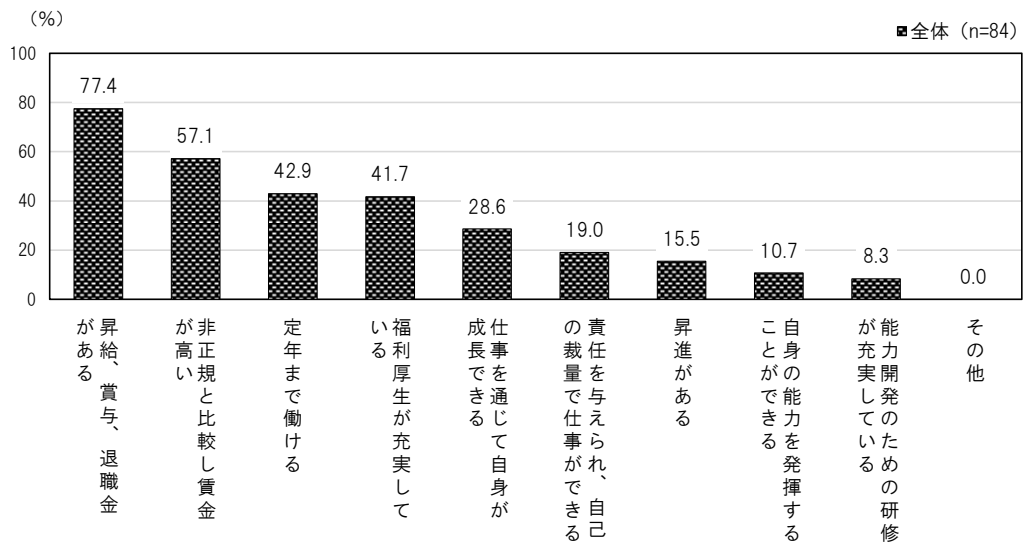
問14-1. 正社員を希望する理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(2) 正社員を希望する理由

正社員を希望する理由では、「昇給、賞与、退職金がある」(77.4%)が最も高く、次いで「非正規と比較し賃金が高い」(57.1%)、「定年まで働ける」(42.9%)、「福利厚生が充実している」(41.7%)、「仕事を通じて自身が成長できる」(28.6%)となっている。

性別にみると、男性では「仕事を通じて自身が成長できる」、「責任を与えられ、自己の裁量で仕事ができる」の割合が女性に比べて高く、女性では「非正規と比較し賃金が高い」、「昇給、賞与、退職金がある」の割合が、男性に比べ高くなっている。

図表Ⅲ-5-2 正社員を希望する理由



		サンプル数	昇給、賞与、退職金がある	非正規と比較し賃金が高い	定年まで働ける	福利厚生が充実している	仕事を通じて自身が成長できる	責任を与えられ、自己の裁量で仕事ができる	昇進がある	自身の能力を発揮することができる	能力開発のための研修が充実している	その他	無回答
全体		100.0 84	77.4 65	57.1 48	42.9 36	41.7 35	28.6 24	19.0 16	15.5 13	10.7 9	8.3 7	-	-
性・婚姻状況別	男性計	11	63.6	36.4	36.4	45.5	36.4	36.4	18.2	18.2	18.2	-	-
	未婚	4	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	-	-
	既婚	7	71.4	42.9	42.9	57.1	28.6	28.6	14.3	14.3	-	-	-
	離婚・死別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性計	女性計	73	79.5	60.3	43.8	41.1	27.4	16.4	15.1	9.6	6.8	-	-
	未婚	18	77.8	66.7	33.3	50.0	44.4	22.2	22.2	11.1	11.1	-	-
	既婚	45	77.8	60.0	42.2	37.8	22.2	13.3	13.3	11.1	6.7	-	-
	離婚・死別	10	90.0	50.0	70.0	40.0	20.0	20.0	10.0	-	-	-	-
年収性別の	130万円未満	24	75.0	45.8	45.8	41.7	33.3	12.5	16.7	12.5	8.3	-	-
	130万円以上	49	81.6	67.3	42.9	40.8	24.5	18.4	14.3	8.2	6.1	-	-

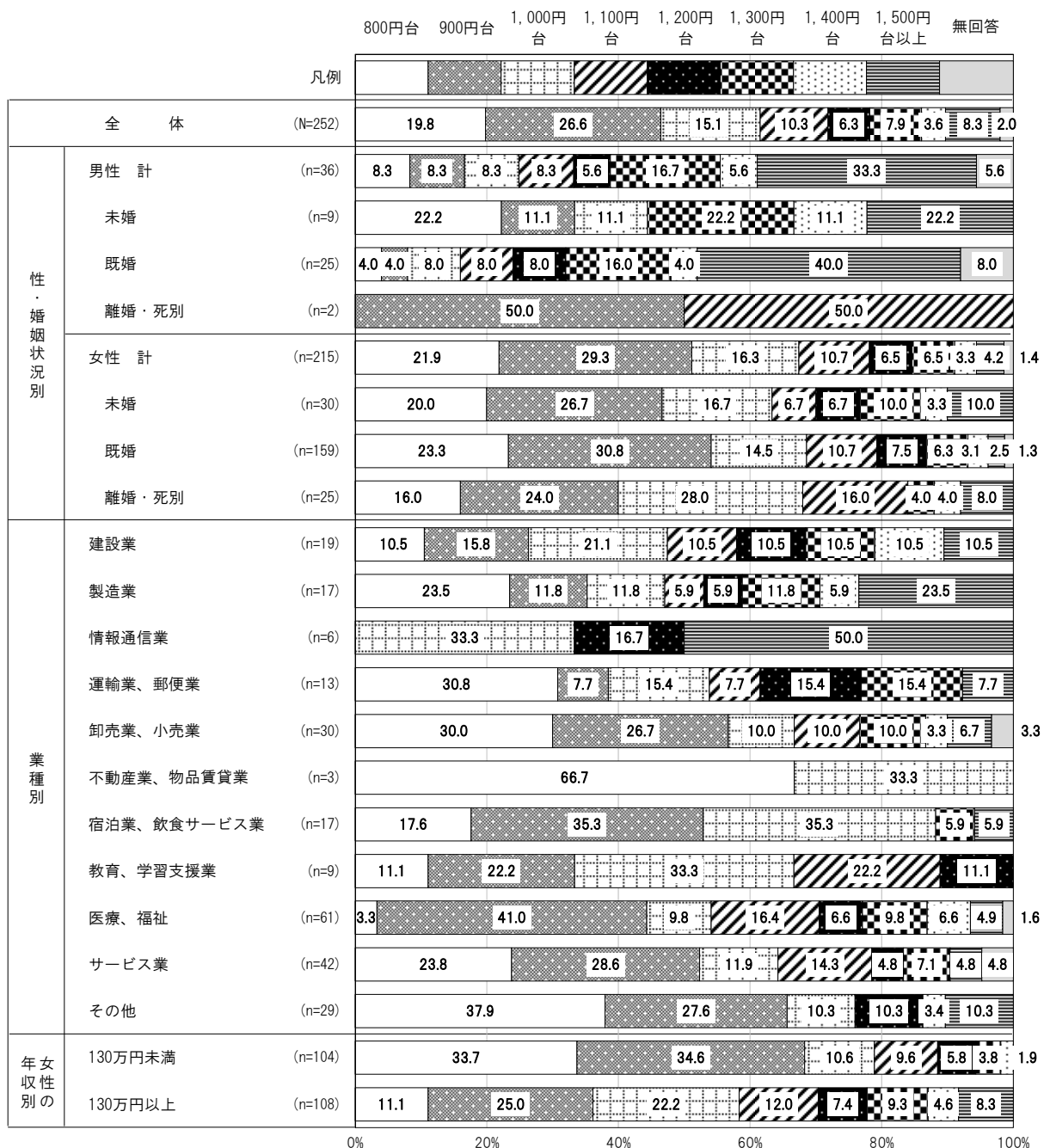
## 6. 賃金と年収

問15. あなたの現在の1時間当たりの賃金は、次のどれに該当しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

### (1) 1時間当たりの賃金

1時間あたりの賃金では、「900円台」(26.6%)が最も高く、次いで「800円台」(19.8%)、「1,000円台」(15.1%)、「1,100円台」(10.3%)、「1,500円台」(8.3%)となっている。性別にみると、女性では男性に比べ、低い金額の割合が高くなっている。

図表Ⅲ-3-7 1時間当たりの賃金



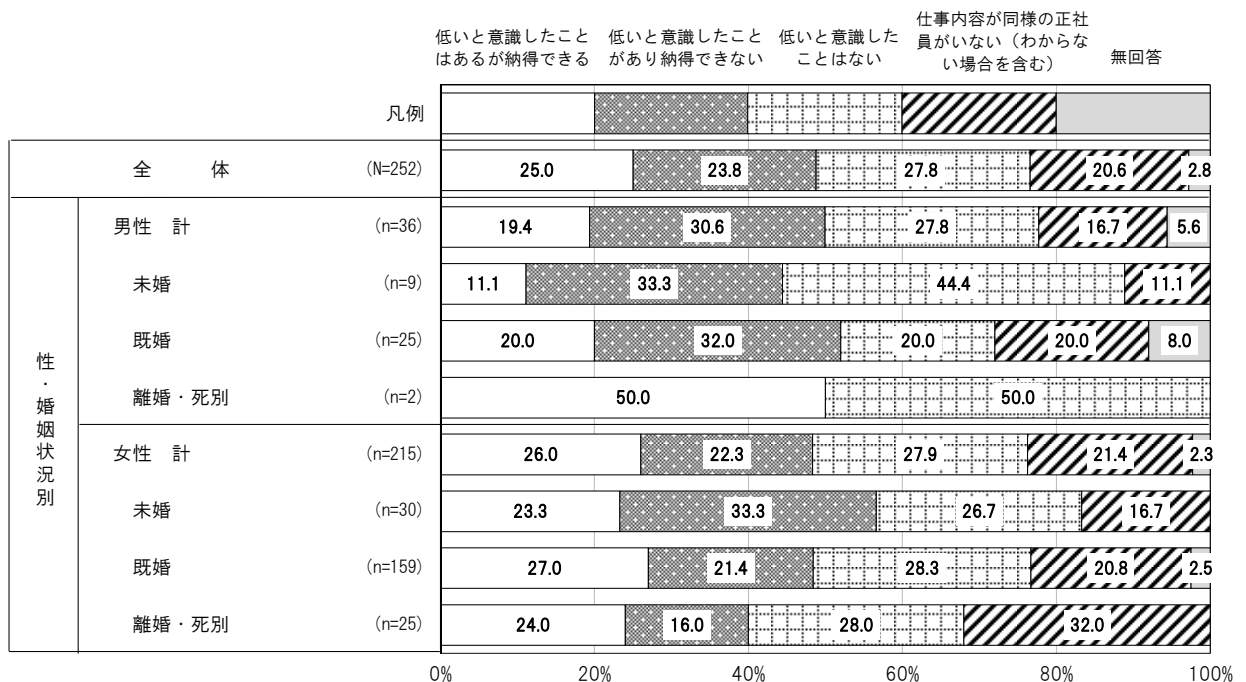
問16. あなたは仕事内容が同様であると思う正社員と比べて、賃金が低いと意識したことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

(2) 正社員と比べた賃金の意識

正社員と比べた賃金の意識については、「低いと意識したことはない」(27.8%)が最も高く、次いで「低いと意識したことはあるが納得できる」(25.0%)、「低いと意識したことがあり納得できない」(23.8%)、「仕事内容が同様の正社員がいない(わからない場合を含む)」(20.6%)となっている。

性別にみると、男性では女性に比べ「低いと意識したことがあり納得できない」の割合が高く、女性では男性に比べ「低いと意識したことはあるが納得できる」の割合が高い。

図表Ⅲ-3-8 正社員と比べた賃金の意識





問17. あなたご自身の昨年（平成30年）の年収はどのくらいでしたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

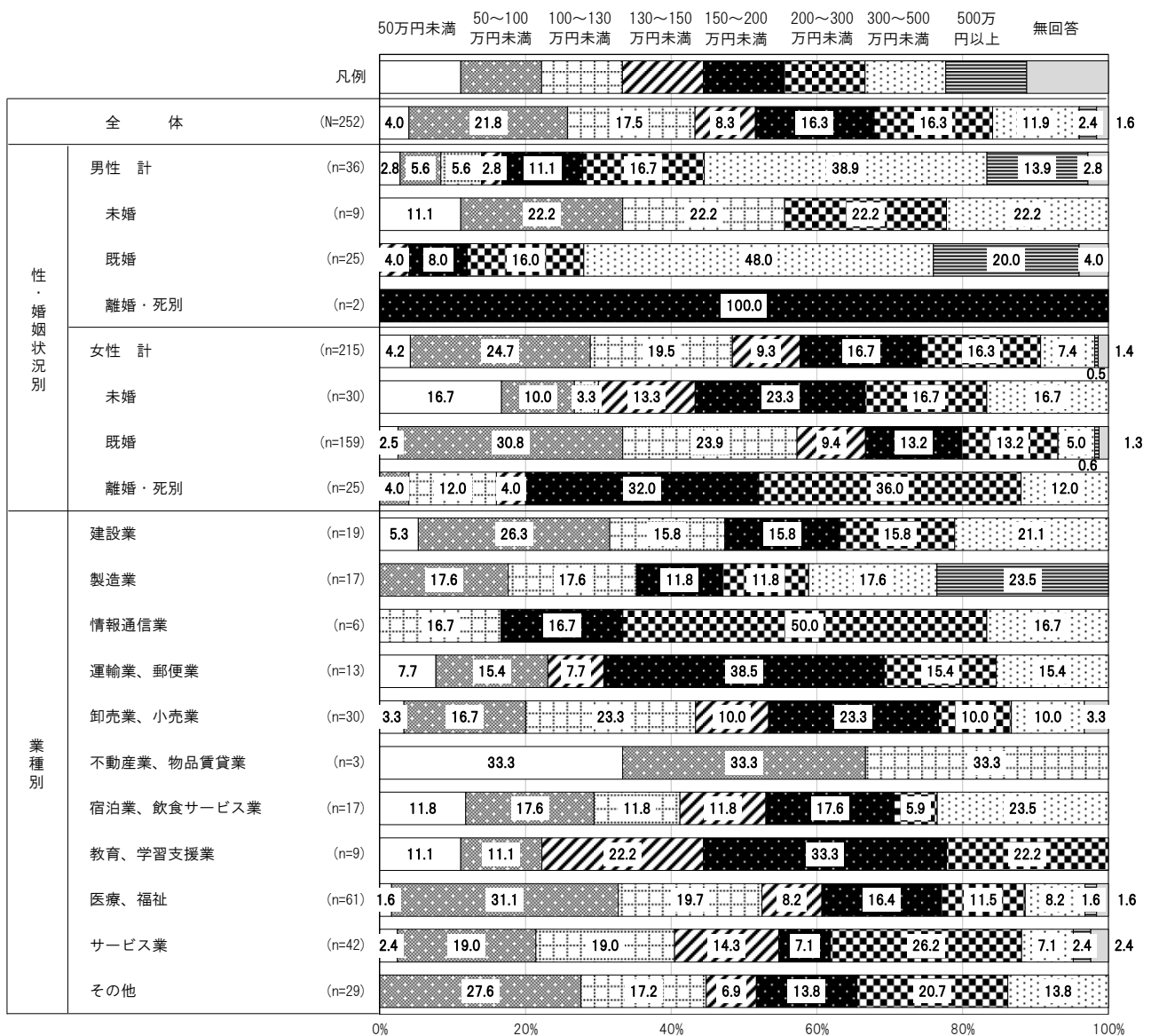
(3) 年収

平成30年の年収では、「50～100万円未満」(21.8%)が最も高く、次いで「100～130万円未満」(17.5%)、「150～200万円未満」(16.3%)、「200～300万円未満」(16.3%)、「300～500万円未満」(11.9%)となっている。

性別にみると、男性では「300～500万円未満」の割合が最も高く、女性では「50～100万円未満」の割合が最も高い。

性・婚姻状況別にみると、既婚女性のうち130万円未満は6割弱を占める。

図表Ⅲ-3-9 年収



## 7. 勤務先や行政への要望

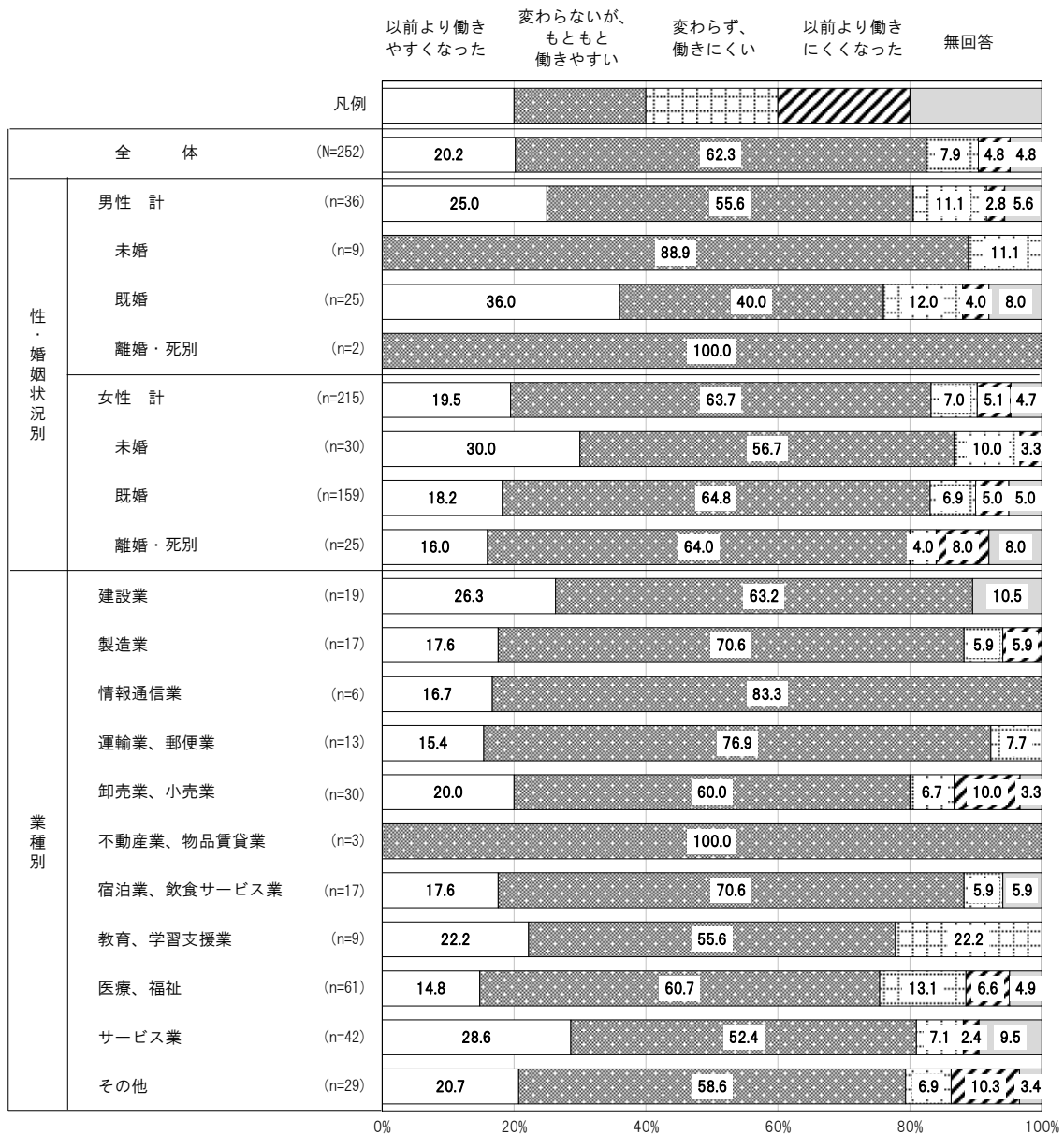
問18. 最近3年程度で、あなたの職場は、残業が減るなど働きやすさについての変化はありましたか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

### (1) 働きやすさについての変化

最近3年程度での働きやすさについての変化については、「変わらないが、もともと働きやすい」(62.3%)が最も高く、次いで「以前より働きやすくなった」(20.2%)、「変わらず、働きにくい」(7.9%)、「以前より働きにくくなった」(4.8%)となっている。

業種別にみると、全体に「変わらないが、もともと働きやすい」との回答が多いが、建設業、サービス業などでは、他に比べ「以前より働きやすくなった」の割合が高く、卸売業、小売業、その他では「以前より働きにくくなった」の割合が高くなっている。

図表Ⅲ-6-1 働きやすさについての変化

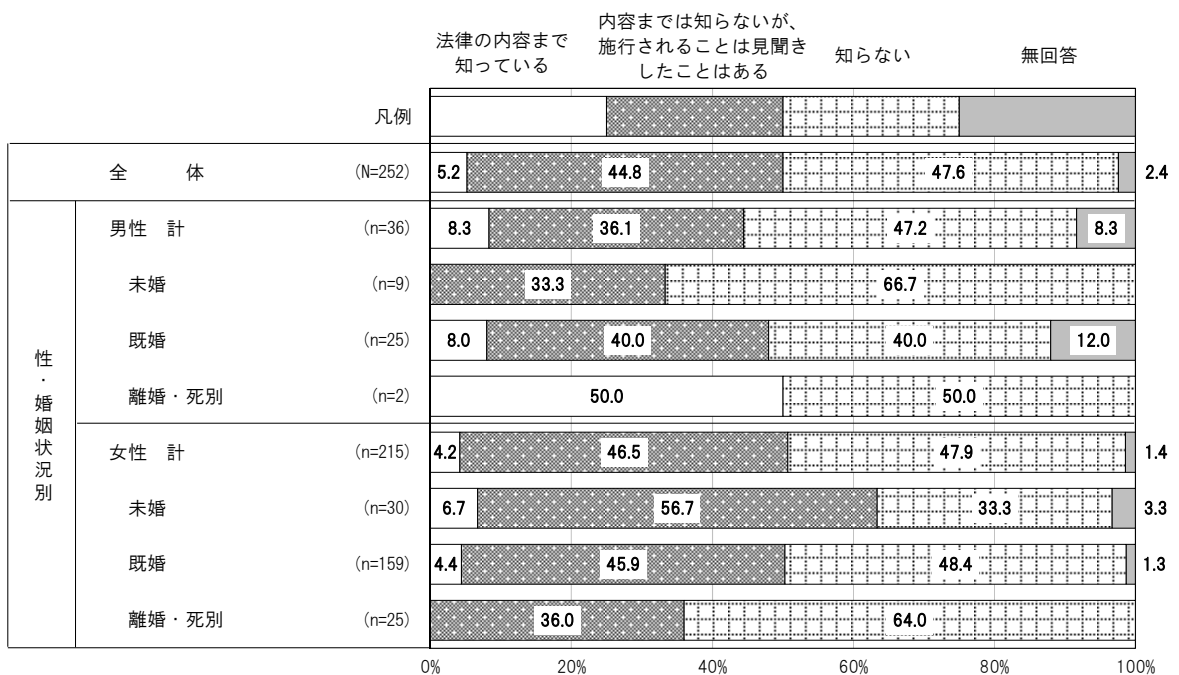


問19. 正社員と非正規雇用労働者間の不合理な待遇差が禁止される「パートタイム労働者・有期雇用労働法」が令和2年4月に施行（中小企業における適用は令和3年4月）されますが、あなたはそのことをご存じですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

(2) 「パートタイム労働者・有期雇用労働法」の認知状況

「パートタイム労働者・有期雇用労働法」の認知度では、「知らない」(47.6%)が最も高く、次いで「内容までは知らないが、施行されることは見聞きしたことはある」(44.8%)、「法律の内容まで知っている」(5.2%)となっている。

図表Ⅲ-6-2 「パートタイム労働者・有期雇用労働法」の認知状況



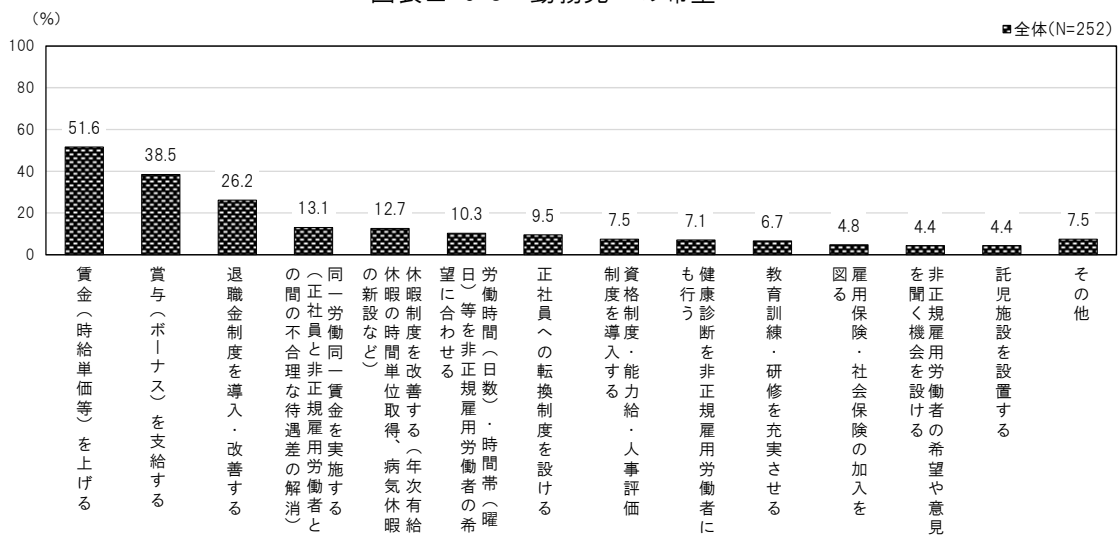
問20. あなたは、現在の勤務先にどのような制度や施設を望みますか。あてはまるものを3つまで選  
び○をつけてください。

(3) 勤務先への希望

勤務先に望む制度や施設では、「賃金（時給単価等）を上げる」（51.6%）が最も高く、次いで「賞与（ボーナス）を支給する」（38.5%）、「退職金制度を導入・改善する」（26.2%）、「同一労働同一賃金を実施する」（13.1%）、「休暇制度を改善する」（12.7%）となっている。

性別にみると、「賃金（時給単価等）を上げる」、「賞与（ボーナス）を支給する」、「退職金制度を導入・改善する」では、男性に比べ女性の割合が高くなっている。

図表Ⅲ-6-3 勤務先への希望



性別・婚姻状況別	業種別	サンプル数	希望する制度・施設 (%)														無回答 (%)
			賃金（時給単価等）を上げる	賞与（ボーナス）を支給する	退職金制度を導入・改善する	同一労働同一賃金を実施する（正社員と非正規雇用労働者との間の不合理な待遇差の解消）	休暇制度を改善する（年次有給の時間単位取得、病気休暇の新設など）	労働時間（日数）・時間帯（曜日）等を非正規雇用労働者の希望に合わせる	正社員への転換制度を設ける	資格制度・能力給・人事評価制度を導入する	健康診断を非正規雇用労働者にも行う	教育訓練・研修を充実させる	雇用保険・社会保険の加入を図る	非正規雇用労働者の希望や意見を聞く機会を設ける	託児施設を設置する	その他	
全体		100.0	51.6	38.5	26.2	13.1	12.7	10.3	9.5	7.5	7.1	6.7	4.8	4.4	4.4	7.5	9.1
男性 計		252	130	97	66	33	32	26	24	19	18	17	12	11	11	19	23
未婚		36	36.1	22.2	19.4	11.1	16.7	8.3	11.1	13.9	8.3	11.1	2.8	-	-	8.3	13.9
既婚		9	55.6	22.2	11.1	-	22.2	11.1	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	22.2
離婚・死別		25	28.0	24.0	24.0	12.0	16.0	8.0	12.0	20.0	12.0	4.0	-	-	-	8.0	12.0
女性 計		2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
未婚		215	54.0	40.9	27.0	13.5	12.1	10.7	9.3	6.5	7.0	6.0	5.1	5.1	5.1	7.4	8.4
既婚		30	66.7	50.0	20.0	6.7	6.7	6.7	10.0	3.3	6.7	3.3	6.7	6.7	3.3	13.3	6.7
離婚・死別		159	50.3	38.4	30.2	15.1	13.2	10.7	9.4	7.5	6.3	7.5	5.0	4.4	5.7	6.9	9.4
業種別		25	64.0	48.0	16.0	12.0	8.0	16.0	8.0	4.0	12.0	-	4.0	8.0	4.0	4.0	4.0
建設業		19	47.4	15.8	31.6	21.1	10.5	5.3	21.1	10.5	15.8	5.3	5.3	-	-	10.5	15.8
製造業		17	41.2	35.3	17.6	11.8	11.8	11.8	11.8	11.8	23.5	11.8	5.9	5.9	-	11.8	5.9
情報通信業		6	50.0	50.0	66.7	-	16.7	-	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業		13	30.8	23.1	38.5	38.5	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	-	7.7	23.1	7.7	
卸売業、小売業		30	50.0	33.3	13.3	3.3	20.0	10.0	16.7	-	3.3	6.7	6.7	6.7	6.7	13.3	16.7
不動産業、物品賃貸業		3	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7
宿泊業、飲食サービス業		17	58.8	35.3	23.5	5.9	17.6	17.6	-	5.9	5.9	-	11.8	11.8	5.9	-	5.9
教育、学習支援業		9	88.9	55.6	44.4	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	11.1	-
医療、福祉		61	50.8	45.9	23.0	11.5	16.4	9.8	6.6	16.4	4.9	6.6	3.3	4.9	4.9	6.6	4.9
サービス業		42	57.1	47.6	28.6	11.9	7.1	19.0	4.8	-	9.5	7.1	9.5	-	2.4	4.8	9.5
その他		29	44.8	34.5	27.6	20.7	6.9	3.4	13.8	6.9	-	10.3	-	3.4	3.4	10.3	6.9

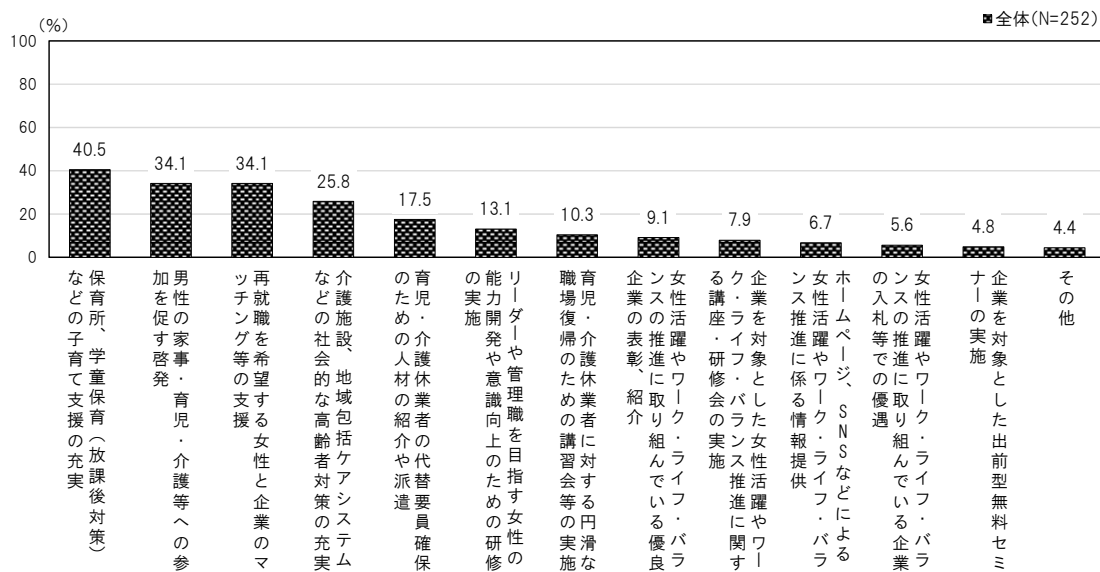
問21. あなたは今後一層、男女が共に職場で活躍し、仕事と家庭を両立していくために、行政にどのようなことを望みますか。特に希望するものを3つまで選び○をつけてください。

(4) 行政への要望

男女共に活躍し仕事と家庭の両立のために行政に望むことでは、「保育所、学童保育（放課後対策）などの子育て支援の充実」（40.5%）が最も高く、次いで「男性の家事・育児・介護等への参加を促す啓発」（34.1%）、「再就職を希望する女性と企業のマッチング等の支援」（34.1%）、「介護施設、地域包括ケアシステムなどの社会的な高齢者対策の充実」（25.8%）、「育児・介護休業者の代替要員確保のための人材の紹介や派遣」（17.5%）となっている。

女性の年代別にみると、30歳代より下の年齢層では「保育所、学童保育（放課後対策）などの子育て支援の充実」の割合が高く、40歳代では多くの項目で回答されているが、全体にその割合は低くなっており、50歳代では「再就職を希望する女性と企業のマッチング等の支援」、60歳以上では「介護施設、地域包括ケアシステムなどの社会的な高齢者対策の充実」の割合が最も高い。

図表Ⅲ-6-4 行政への要望



§ 4. 非正規雇用労働者調査

																(%)			
		サンプル数	保育所、学童保育（放課後対策）などの子育て支援の充実	男性の家事・育児・介護等への参加を促す啓発	再就職を希望する女性と企業のマッチング等の支援	介護施設、地域包括ケアシステムなどの社会的な高齢者対策の充実	育児・介護休業者の代替要員確保のための人材の紹介や派遣	リーダークラスや管理職をを目指す女性の実施	職場復帰のための講習会等の実施	育児・介護休業者に対する円滑な職場復帰のための講習会等の実施	企業の表彰・紹介	女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる優良企業の実施	講座・研修会の実施	企業を対象とした女性活躍やワーク・ライフ・バランス推進に関する情報提供	ホームページ、SNSなどによる女性活躍やワーク・ライフ・バランス推進に係る情報提供	女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に取組んでいる企業の優遇	企業を対象とした出前型無料セミナーの実施	その他	無回答
全 体		100.0 252	40.5 102	34.1 86	34.1 86	25.8 65	17.5 44	13.1 33	10.3 26	9.1 23	7.9 20.0	6.7 17	5.6 14	4.8 12	4.4 11	8.7 22			
性・婚姻状況別	男性 計	36	36.1	41.7	19.4	27.8	22.2	22.2	5.6	19.4	8.3	2.8	-	11.1	2.8	5.6			
	未婚	9	22.2	33.3	33.3	22.2	11.1	-	-	11.1	-	11.1	-	11.1	11.1	11.1			
	既婚	25	44.0	48.0	12.0	28.0	28.0	28.0	8.0	24.0	12.0	-	-	-	8.0	-	4.0		
	離婚・死別	2	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-		
女性年代別	女性 計	215	41.4	33.0	36.3	25.6	16.3	11.6	11.2	7.4	7.9	7.4	6.0	3.7	4.7	9.3			
	未婚	30	20.0	23.3	33.3	26.7	20.0	23.3	13.3	10.0	6.7	6.7	6.7	-	-	13.3			
	既婚	159	46.5	37.1	37.1	25.2	16.4	9.4	11.3	7.5	7.5	6.9	6.9	3.1	5.0	6.9			
	離婚・死別	25	36.0	20.0	36.0	28.0	12.0	12.0	8.0	4.0	12.0	12.0	-	12.0	8.0	16.0			
女性年代別	24歳以下	5	40.0	20.0	40.0	-	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-	-	20.0			
	25～29歳	10	60.0	50.0	60.0	10.0	10.0	10.0	20.0	10.0	-	-	10.0	-	-	-			
	30～34歳	16	62.5	37.5	18.8	25.0	31.3	-	12.5	6.3	-	-	6.3	-	6.3	6.3			
	35～39歳	24	54.2	37.5	37.5	20.8	12.5	8.3	4.2	12.5	12.5	8.3	-	-	-	4.2			
	40～49歳	84	36.9	29.8	32.1	14.3	15.5	9.5	10.7	10.7	8.3	6.0	9.5	3.6	4.8	14.3			
	50～59歳	51	37.3	35.3	49.0	41.2	19.6	9.8	15.7	3.9	3.9	13.7	5.9	5.9	3.9	5.9			
60歳以上	24	33.3	29.2	25.0	50.0	8.3	33.3	4.2	-	16.7	-	-	-	8.3	12.5	4.2			

問22. 職場における女性活躍推進やワーク・ライフ・バランスに関して、日頃感じていることやご提案など自由にご記入ください。

(5) 自由意見

(一部抜粋)

No	内容
1	育児をする方も大変だが、職場でその方たちを支える女性がいることも、忘れないでほしい。
2	子育て中の女性は時間に追われているので、時給単価を見直してほしい。長く働けば給与は上がるが、子育てのための時間が短くなる。
3	女性は結婚すれば家に入るものだという考えが、会社にある。
4	産休を取ったら復帰後の給与が下がったり、昇給が遅くなるようなことがあるので、女性が結婚、出産し育児をしながらでも働こうと思える待遇にしてほしい。
5	扶養内、103万円の壁があるから働きにくい。この金額を150万円くらいまで増やしてほしい。
6	有期雇用やパートの人でも、正社員登用の道があり、本人が選択できる雇用形態にしてほしい。
7	非正規雇用でも、必要性や本人の希望があれば、セミナーや研修に参加できる制度を設けてほしい。
8	保育園の充実が必要。特に病児保育の施設が増えると助かる。
9	在宅ワークができたり、勤務時間を選べると、仕事と家庭の両立が少し楽になると思う。
10	男性の育児・家事参加は必須。
11	休む人の代替要員や、日頃から人を多めに雇用できるための支援が必要。
12	女性が職場で活躍できるのはいいことだが、子どもがいる方が全員フルに働くと、学校のPTA活動に参加できないなどの支障も出てくる。色々な機関との連携の必要を感じる。
13	育児休業手当が、産後半年以降減額になることがつらい。そのため職場への復帰を急ぎ、認可外保育所に預けるなどして保育料が高いつき、お金が手元に残らない。子育てと仕事が多忙で第2子、第3子を産むことをためらい、少子化が進行するという悪循環になる。
14	男性が、もっと育児や介護休暇を取りやすい環境が必要。
15	企業への正しい情報提供、研修を行ってほしい、また企業への金銭面、人事面、システム面での助成を、行政が行ってほしい。
16	業種にもよると思うが、正社員だと20時くらいまでは仕事をする状況にある。子どもとの時間を大切にしたいので、16時から17時には退社できるような社員制度がほしい。
17	もう少し、子どもの病気などによる早退、欠勤が取りやすかったり、短時間でも働ける働き方があるとよいと思う。

